SAMSUNG

ユーザー マニュアル

UD22B

色と外観は製品によって異なる場合があり、
製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

BN46-00286A-02

目次

ご使用になる前に

7 **著作権について**

8 **お手入れに関する注意事項**

8 記録装置（梱包保存時）

9 **安全にお使いいただくために**

9 記号について

10 電気に関する注意事項

11 インストール方法

13 ご使用の際の注意事項

準備

17 **内容の確認**

17 梱包材の取り外し

18 内容物の確認

20 **各部**

20 外部センサー

22 背面

24 リモコン

26 外部センサー キットを使用して複数のモニタ製品を制御する方法

27 **製品の設置前に（設置ガイド）**

27 換気

29 寸法

30 **RS232C**

30 ケーブル接続

33 接続

35 制御コード

入力信号デバイスの接続と使用

44 **接続の前に**

44 接続前のチェックポイント

45 **PC の接続と使用**

45 PC への接続

47 解像度の変更

50 **外部モニターを接続する**

目次

51 ビデオ デバイスへの接続
51 HDMI-DVI ケーブルを使用した接続
52 HDMI ケーブルを使用した接続
52 オーディオ システムに接続する
53 ネットワーク ボックスの接続 (別売り)
53 MagicInfo
54 入力ソースを変更する
54 外部入力

MDC の使用
55 マルチコントロール の構成設定
55 ID 設定
55 ID 入力
55 MDC 接続
55 ネットワーク設定
56 MDC プログラムのインストール / アンインストール
56 インストール方法
56 アンインストール
57 MDC とは ?
57 MDC の接続
59 接続の管理
60 Auto Set ID
61 クローニング
62 コマンドの再試行
63 MDC を開始する
65 メイン画面のレイアウト
66 メニュー
67 画面調整
71 音声調整
72 システムの設定
80 ツールの設定
82 その他の機能
87 トラブルシューティング ガイド

画面調整
89 外部入力

目次

90 外部入力名編集

91 入力信号自動切換設定

画面調整

92 モード
92 入力信号が [DVI] または [DP] の場合
92 入力ソースが HDMI の場合

93 ユーザー調整
93 コントラスト
93 明るさ
93 シャープネス
93 ガンマ
94 色の濃さ
94 色あい

95 色温度
95 入力信号が DVI または ディスプレイ ポート の場合
95 入力ソースが HDMI の場合

96 カラー調整

96 Color Temp.

97 サイズ
97 入力信号が DVI または ディスプレイ ポート の場合
98 入力ソースが HDMI の場合
98 入力ソースごとに設定可能な画像サイズが異なります。

99 デジタル NR

99 ＨＤＭＩ　黒レベル

99 フィルムモード

99 ダイナミックコントラスト

100 ライト調整

100 映像リセット

目次

音声調整

101 モード

102 ユーザー調整

102 低音

102 高音

102 バランス

103 自動音量

103 SRS TS XT

103 サウンド リセット

設定

104 言語

104 時刻

104 現在時刻設定

105 スリープ タイマー

106 タイマー 1 / タイマー 2 / タイマー 3

107 休日の管理

107 メニューの背景透明度

108 安全ロック

108 PIN の変更

108 Lock

109 省電力

109 画像分割

109 画像分割

110 フォーマット

110 水平

111 垂直

111 画面の位置

目次

112 画面保護
112 ピクセル シフト
113 タイマー
114 バー
114 消しｺﾞﾑ
114 ピクセル
115 サイドグレー
115 解像度の選択
116 電源オン調整
116 OSD 回転
117 詳細設定
117 ファン & 温度
119 自動電源設定
119 ボタン ロック
119 自動補正（ユーザー）
120 スタンバイ制御
121 ランプ スケジュール
121 OSD ディスプレイ
122 ソフトウェア更新
123 設定をリセット
123 すべてリセット

トラブルシューティング ガイド
124 サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に
124 製品のテスト
124 解像度と周波数の確認
125 以下について確認します。
127 Q & A

仕様
128 一般情報
129 省電力
130 プリセット タイミング モード

目次

付録

132 お客様相談ダイヤル

133 有料サービスに関する責任 (お客様の負担)

133 製品に異常がない場合

133 お客様の過失によって製品が損傷した場合

133 その他

134 最適画質および残像の焼き付き防止

134 最適画質

135 残像の焼き付き防止

137 用語

索引

著作権について

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

© 2012 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

SAMSUNG ロゴおよび SyncMaster ロゴは、Samsung Electronics の登録商標です。

Microsoft, Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他すべての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意くださ い。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

TruSurround XT, SRS and the symbol are trademarks of SRS Labs, Inc.
TruSurround XT technology is incorporated under license form SRS Lab, Inc.

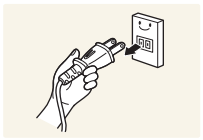
The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

お手入れに関する注意事項

高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

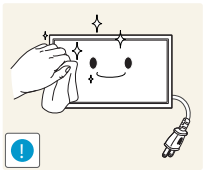
清掃は、次の手順で行ってください。

以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

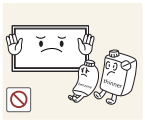


1. 本製品と PC の電源をオフにします。
2. 本製品から電源コードを外します。

   電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。

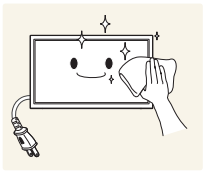


3. 清潔で柔らかい乾いた布で本製品を拭きます。

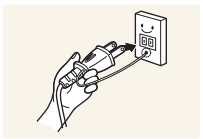


- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤は使用しないでください。

- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4. 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、本製品の外装を清掃します。



5. 清掃が終わったら、電源コードを本製品に接続します。
6. 本製品と PC の電源をオンにします。

記録装置(梱包保存時)

超音波加湿器を近くで使用している場合、光沢のあるモデルの表面に白いしみが発生する場合があります。

本製品内部の清掃が必要な場合は、カスタマー サービス センターまでお問い合わせください (別途作業費がかかります)。

安全にお使いいただくために

注意
感電する危険があります。カバーを開けないでください
注意 :感電の危険をなくすため、カバーを外さないでください。(または背面) 内部には、ユーザーが対応可能な部品はありません。 修理はすべて正規の修理業者にご依頼ください。

	この記号は、内部が高電圧であることを示しています。 この製品の内部部品に触れると危険です。
	この記号は、操作とメンテナンスに関する重要な文書がこの製品に付属していることを警告しています。

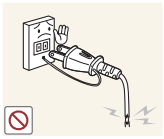
記号について

警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止行為を示しています。
	順守すべき行為を示しています。

電気に関する注意事項

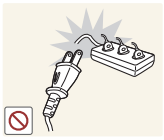
以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告



破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

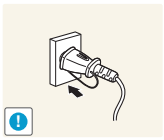


複数の製品をひとつの電源ソケットで使用しないでください。

- 電源ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

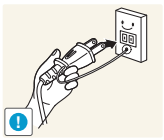
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



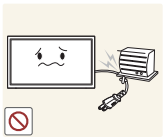
電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください（絶縁クラス 1 の機器のみ）。

- 感電またはケガの原因となることがあります。

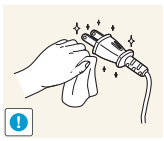


電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物を載せた状態にしないでください。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

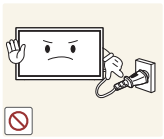
- 火災または感電の原因となることがあります。



電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりは、乾いた布で取り除いてください。

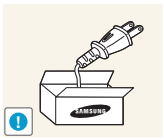
- 火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



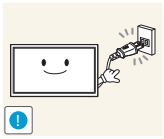
製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。



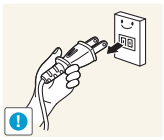
弊社が提供する電源コードのみを使用してください。
また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 問題が発生した場合は、電源コードを抜いて製品の電源をオフにする必要があります。
- 遠隔の電源ボタンだけでは、製品の電源を完全にオフにすることはできませんのでご注意ください。



電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

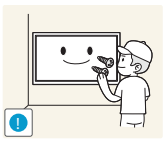
- 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

⚠ 警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。

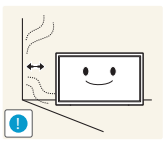


製品を壁に設置する場合は、専門の取付業者にご依頼ください。

- 無資格で取り付けを行うと、ケガの原因となることがあります。
- 認可されているキャビネットを必ず使用してください。

製品を本棚やクローゼットなどの換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。



製品を設置するときには、換気のために壁から 10cm 以上離してください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

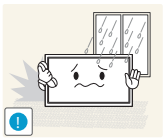
ご使用になる前に

梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋で窒息することがあります。

安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

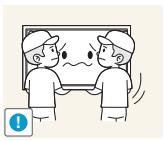
- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。

製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。

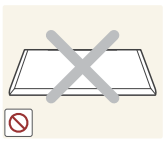
食用油（大豆油など）を使用すると、製品の破損や変形の原因となります。製品をキッチンやキッチン カウンターの近くに設置しないでください。

注意



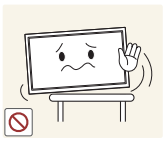
製品を移動させるときは落下に十分ご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。



製品の前面を下にして置かないでください。

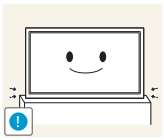
- 画面が破損することがあります。



製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。

ご使用になる前に



製品を置くときは丁寧に置いてください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

通常とは異なる場所（大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼動させる必要のある空港や駅）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

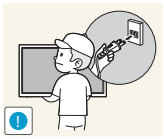
- これらの場所に製品を設置する場合は、Samsung カスタマー サービス センターにご相談ください。

ご使用の際の注意事項

警告

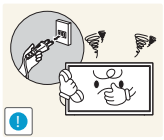
製品内部は高電圧になっています。製品の分解、修理または改造は絶対に行わないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センターまでお問い合わせください。



製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

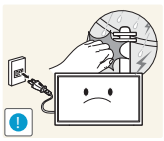
- お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

製品が落下したりケースが破損した場合は、電源スイッチをオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。

- そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。

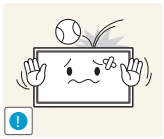
重い物や、お子様のお気に入りの玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



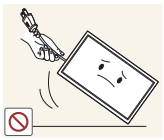
落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



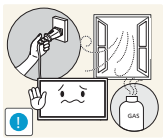
製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



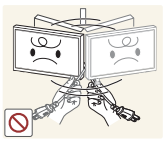
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



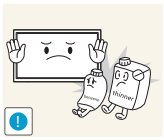
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。



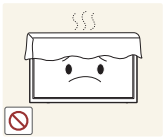
電源コードやその他のケーブルを引っ張って製品を持ち上げたり移動させたりしないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を、通気口や入出力ポートなどから製品内に入れないでください。

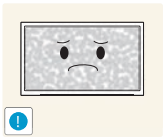
- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

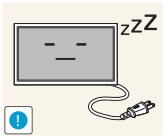
ご使用になる前に

⚠ 注意



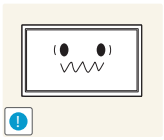
静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間にわたって本製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーン セーバーを設定してください。



休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積と温度上昇により、火災、感電または漏電が発生することがあります。

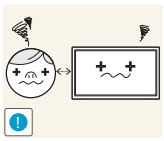


製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。

スタンドを持って本製品を上下逆にしたり移動させたりしないでください。

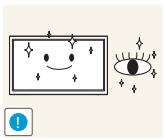
- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。



画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。

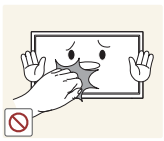
加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

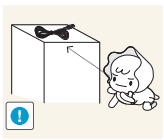


製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。



電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。



細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

ご使用になる前に

製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

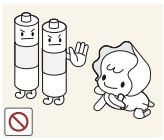
- 手や指が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、製品が落下したり、ケガの原因となることがあります。

製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

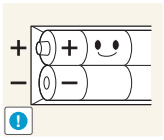
ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。



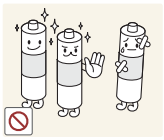
リモコンから電池を取り外したときには、お子様が電池を口の中に入れないようにしてください。電池は、子供または乳児の手の届かない場所に置いてください。

- お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。



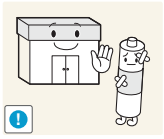
電池を交換するときには、正しい極性 (+、–) の向きに入れてください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、傷害または故障の原因となることがあります。



指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。



バッテリ (および充電式バッテリ) は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。バッテリ (および充電式バッテリ) は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。

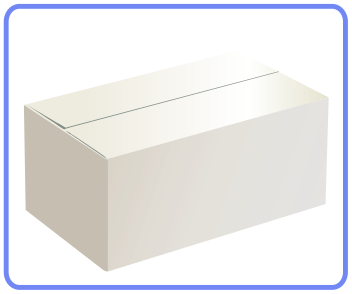
- お客様は、使用済みの充電式バッテリを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリおよび充電式バッテリを販売している店舗に返送することができます。

1 準備

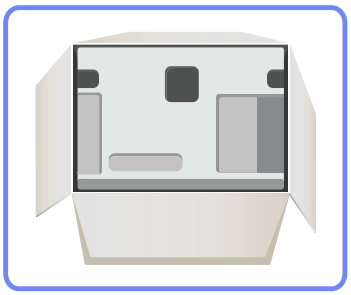
1.1 内容の確認

1.1.1 梱包材の取り外し

1 梱包されている箱を開きます。鋭利なものを使用して開梱する場合は製品を傷付けないようご注意ください。



2 製品から発泡スチロールを取り外します。



3 製品を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

- 実際の製品の外観は、表示とは異なる場合があります。
- この図はイメージです。

4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

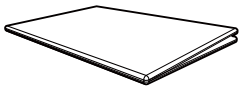
1.1.2 内容物の確認

- 内容物が不足している場合は、製品の購入先にお問い合わせください。
- 内容物および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。

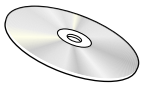
部品

付属品は、販売している地域や国によって異なる場合があります。

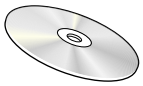
クイック セットアップ ガイド



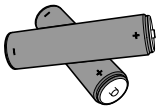
保証書
（一部の地域では利用できません）



ユーザー マニュアル



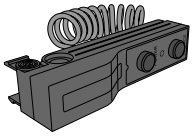
″MagicInfo Lite″ CD



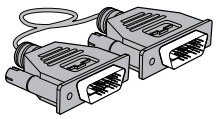
電池
（一部の地域では利用できません）

リモコン

電源コード



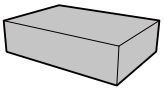
外部センサー キット



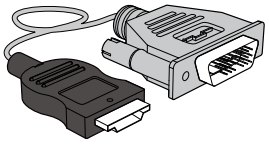
DVI ケーブル

別売品

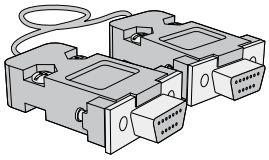
以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。



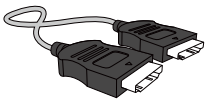
ウォール マウント キット



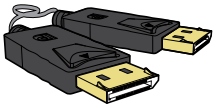
HDMI-DVI ケーブル



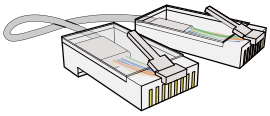
RS232C シリアル ケーブル



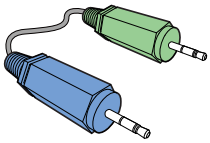
HDMI ケーブル



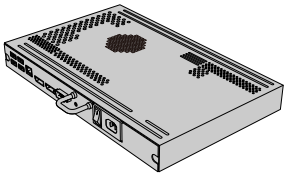
DP ケーブル



LAN ケーブル



ステレオ ケーブル

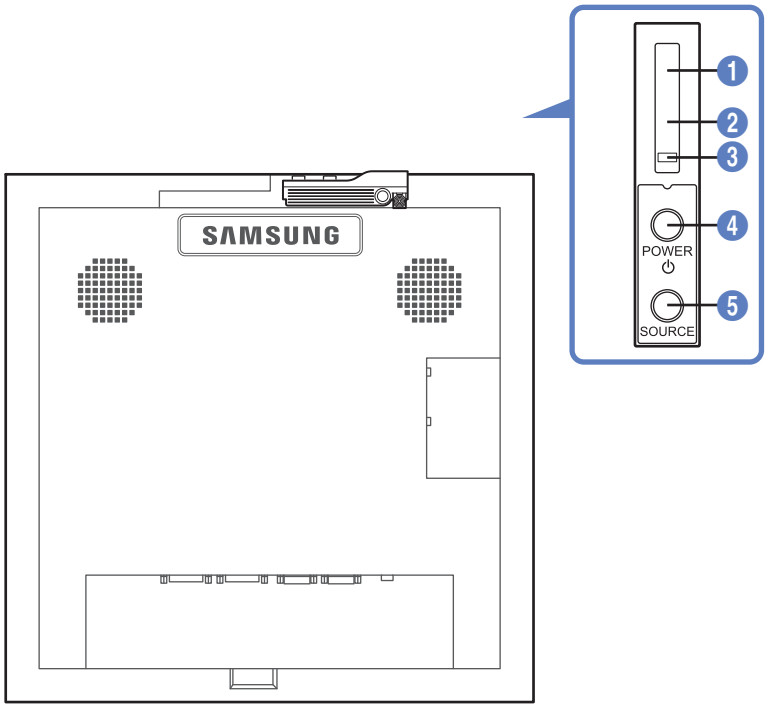


ネットワーク ボックス

1.2 各部

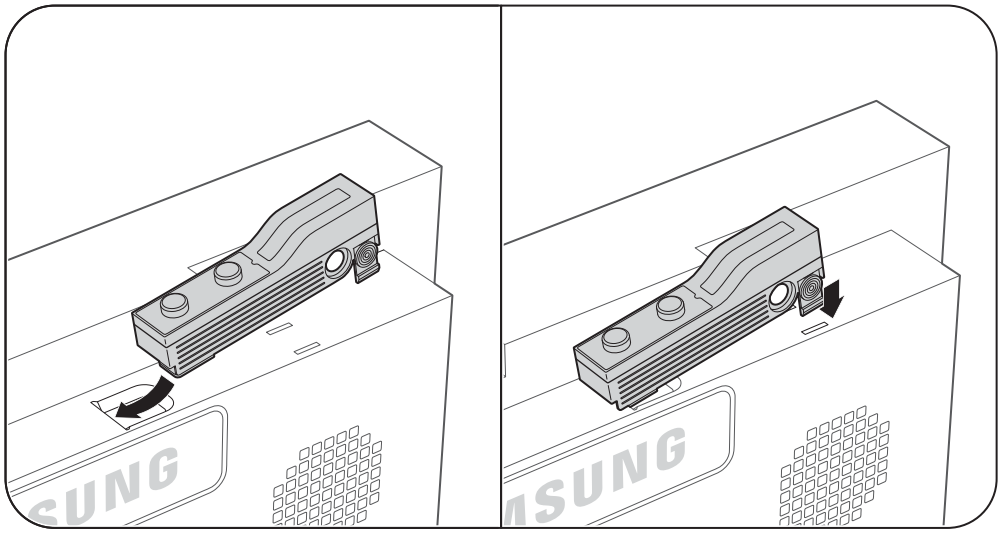
1.2.1 外部センサー

- 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。
- リモートセンサーとリモコンの間に、障害物のない状態を維持してください。



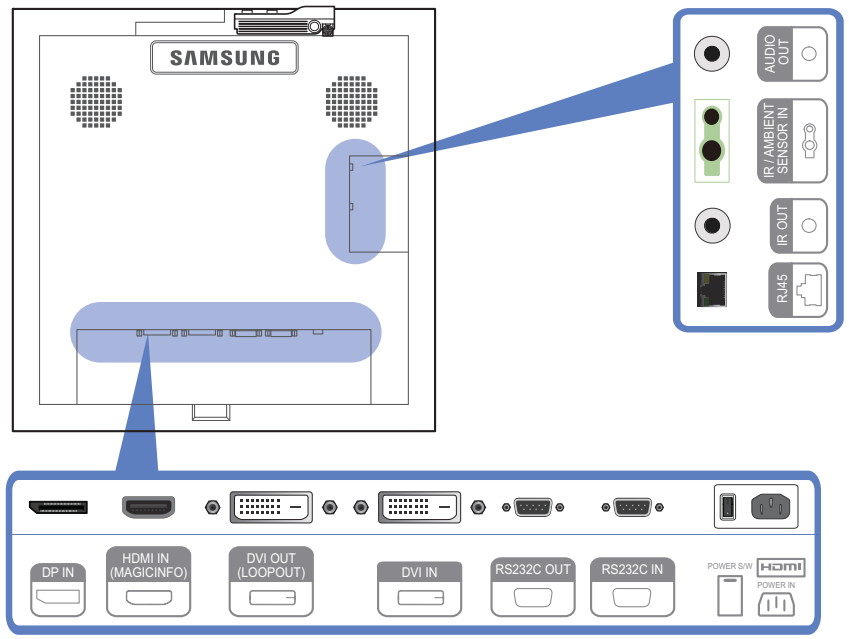
	センサー	説明
1	リモートコントロールセンサー	リモコンを LCD ディスプレイのこの部分に向けます。 リモートセンサーとリモコンの間に、障害物のない状態を維持してください。
2	明るさセンサー	選択されたディスプレイの周囲の明るさを自動的に検知して、画面の輝度を調整します。
3	電源インジケーター	電源オン モードではオフになり、省電力モードでは緑色に点滅します。
4	[POWER] ⏻	ディスプレイのオン / オフを切り替えるために使用します。
5	[SOURCE]	PCモードからビデオモードに切り替えます。 外部機器が接続されている入力ソースを選択します。

外部センサーの取り付け



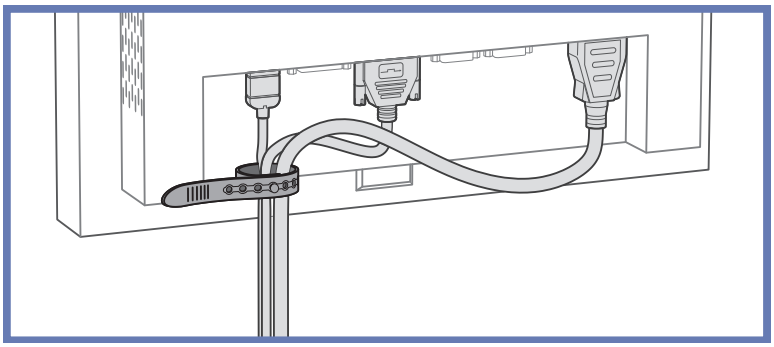
1.2.2 背面

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



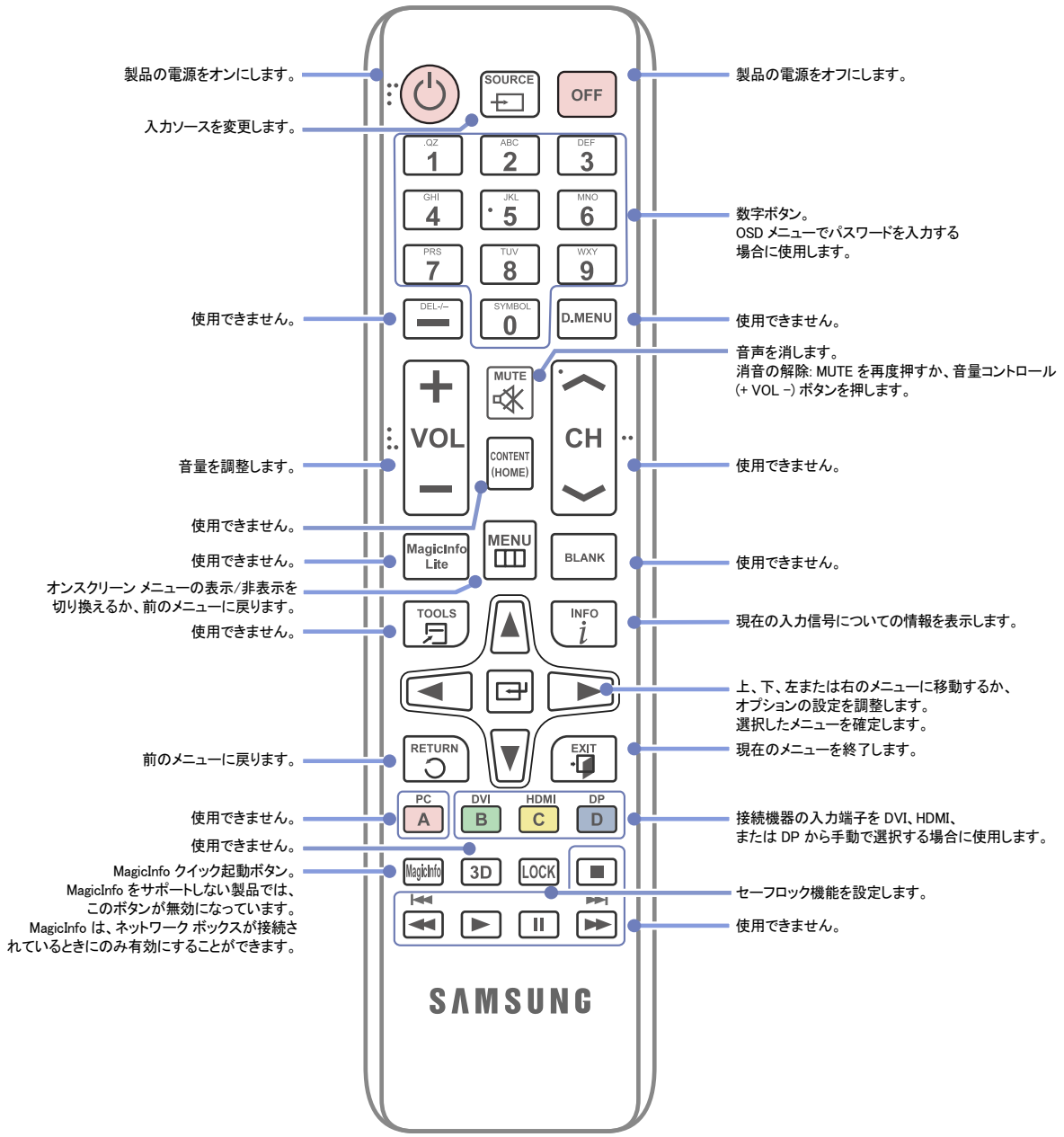
ポート	説明
[DP IN]	DP ケーブルを使用して PC と接続します。
[HDMI IN (MAGICINFO)]	HDMI ケーブルを使用してソース機器と接続します。 • MagicInfo を使用するには、Samsung が指定するネットワーク ボックスの MagicInfo 出力ポートを本製品の [HDMI IN (MAGICINFO)] ポートに接続する必要があります。 • ネットワーク ボックスの購入およびインストールについて詳しくは、Samsung Electronics にお問い合わせください。
[DVI OUT (LOOPOUT)]	DVI ケーブルを使用して別の製品と接続します。
[DVI IN]	DVI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
[RS232C OUT] [RS232C IN]	RS232C シリアル ケーブル (クロス タイプ) を使用して、RS232C または MDC と接続します。
[RJ45]	RJ45 ケーブルを使用して、RS232C または MDC と接続します。
[IR OUT]	IR OUT を使用して、外部センサーの入力信号を別のディスプレイに転送します。
[IR / AMBIENT SENSOR IN]	外部センサーと接続します。
[AUDIO OUT]	入力信号デバイスの音声に接続する

ホルダー ワイヤ スタンドの組み立て

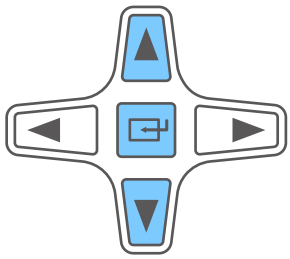
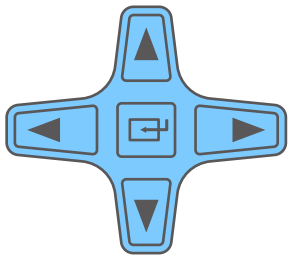
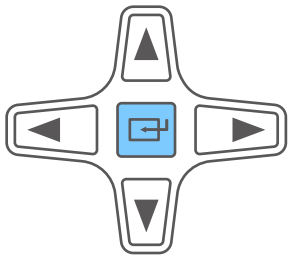


1.2.3 リモコン

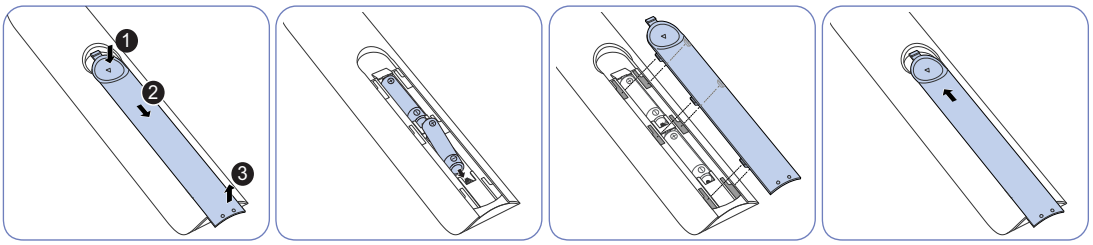
- 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。
- 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。



リモコンを使った OSD の調整

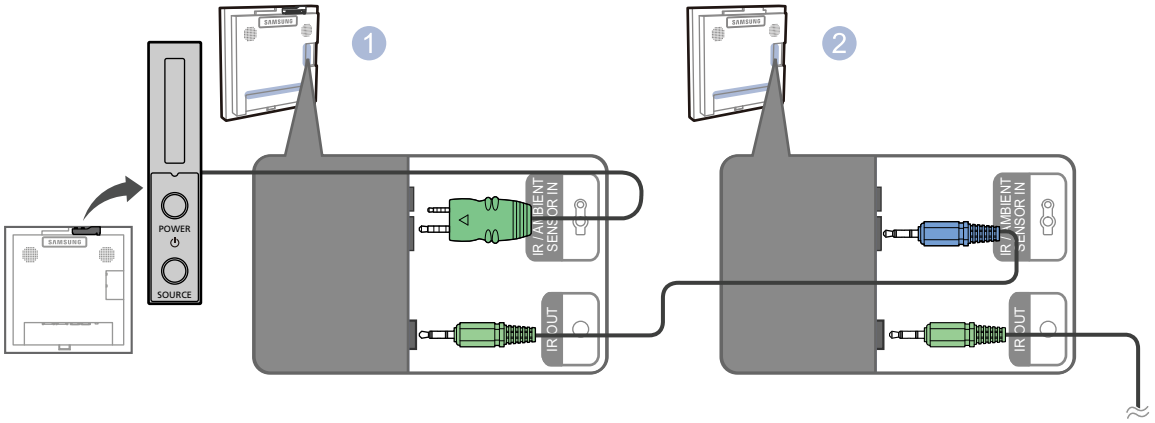
	1. OSD メニューを開きます。
	2. 表示される OSD メニュー画面で、[**入力**]、[**映像**]、[**音声**]、[**設定**] または [**マルチコントロール**] のいずれかを選択します。
	3. 目的の内容に変更します。
	4. 設定を終了します。
	5. OSD メニューを閉じます。

リモコンの電池交換方法



- 使用済み電池は、お子様の手の届かないところに保管してリサイクルしてください。
- 新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。両方の電池を同時に交換してください。
- リモコンを長期間使用しない間は、電池を取り外しておいてください。

1.2.4 外部センサー キットを使用して複数のモニタ製品を制御する方法



- 専用の RS232C シリアル ケーブルを使用して、本製品の [IR OUT] ポートと他のモニター製品の [IR / AMBIENT SENSOR IN] ポートを接続します。
- モニタ製品 1 (外部センサー キットが接続された製品) で指定したリモコンから送信された命令が、モニタ製品 1 とモニタ製品 2 で受信されます。

外観は製品のモデルによって異なる場合があります。

1.3 製品の設置前に（設置ガイド）

ケガを予防するため、設置指示にしたがって本機器をしっかりと床または壁に取り付けてください。

- 壁に取り付ける場合は必ず、認定設置会社に依頼してください。
- 依頼せずに設置すると落下の原因となり、ケガにつながります。
- 必ず指定された壁設置を行ってください。

1.3.1 換気

垂直な壁に取り付ける場合

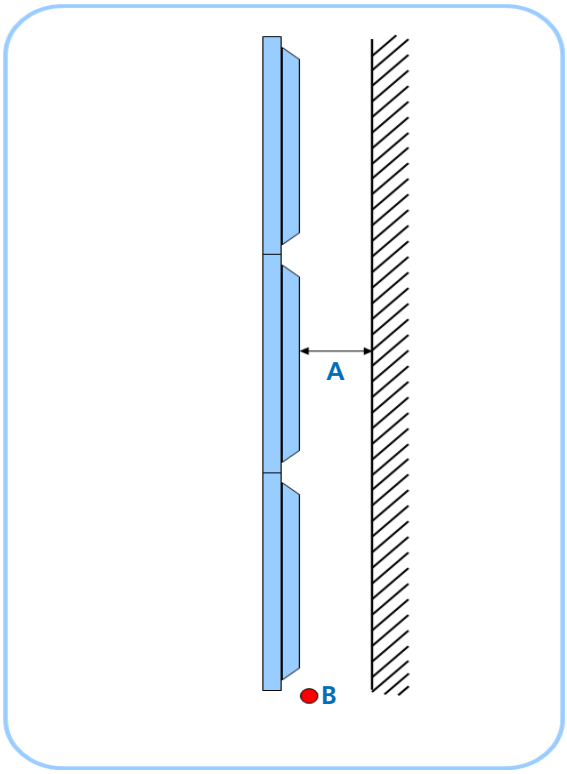


Figure 1.1 側面図

A 壁からの距離（推奨）

B 周囲温度の測定点

- ビデオ ウォールは、周囲温度が 30 °C 以上にならない場所に取り付けてください。
- 上部の機器はかなり熱くなります。
  - 最上部の機器の内部温度は、最下部の機器に比べて、5 ~ 10 °C 高くなります。

    （壁から十分な距離に取り付けた場合も同様）

（単位:mm）

構成	1 X 1	2 X 2	3 X 3	4 X 4	5 X 5
A	40	80	120	160	200

6 列以上の場合は、補助用の空調システムを設置してください。

2. 埋め込み式の取り付け方法

- ビデオ ウォールを埋め込み式で取り付ける場合は、周囲温度が 30 ˚C 以上にならない場所に取り付けてください。
- 後ろの壁からの距離は、垂直の壁に取り付ける場合と同様です。

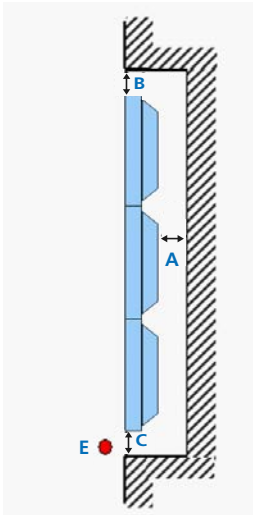


Figure 1.2 側面図

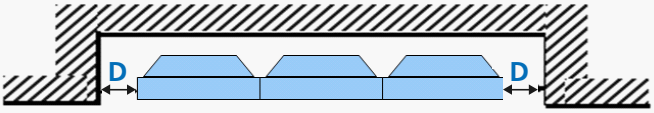


Figure 1.3 平面図

A 垂直に取り付ける場合と同様
B B = C = D :同一間隔
C B = C = D :同一間隔
D B = C = D :同一間隔
E 周囲温度の測定点

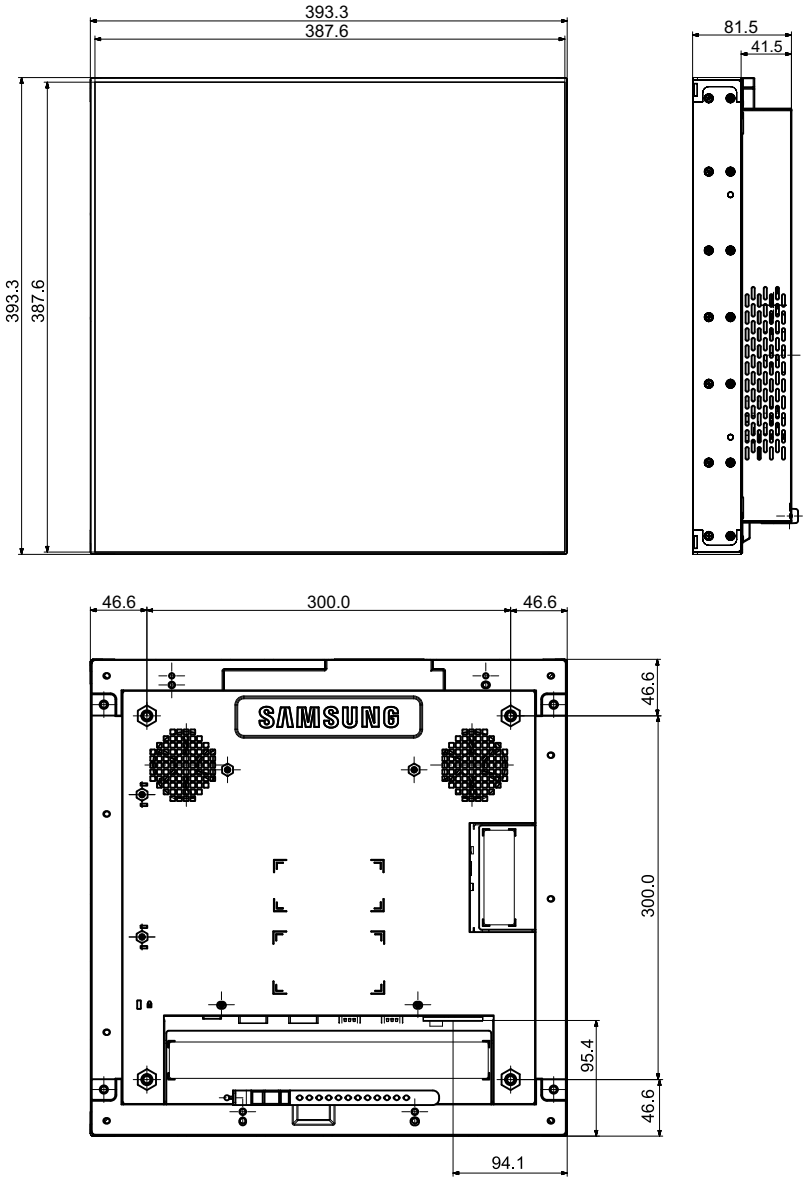
推奨距離

(単位:mm)

構成	1 X 1	2 X 2	3 X 3	4 X 4	5 X 5
A	40	80	120	160	200
B (= C = D)	50	100	150	200	250

外観をよくするために壁と側面の間隔 (B、C、D) を狭くする場合は、冷却ファンを別途設置してください。

1.3.2 寸法



図面は一部原寸に比例していないものを含みます。上記寸法は予告なく変更されることがあります。本製品の設置を行う前に寸法を確認してください。誤植などに関する責任は一切負いません。

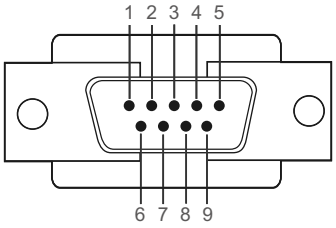
1.4 RS232C

1.4.1 ケーブル接続

RS232C ケーブル

インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No. 2), RxD (No. 3), GND (No. 5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット:	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15m (シールド タイプのみ)

- ピン配置

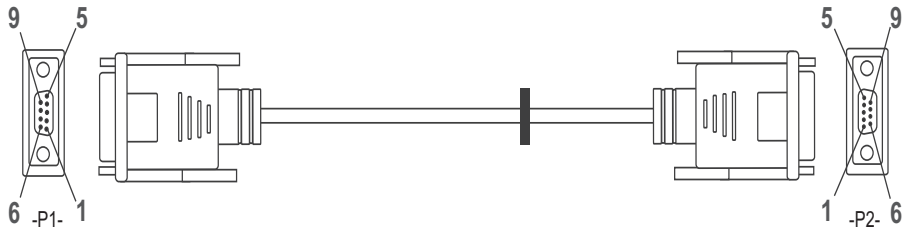


ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	信号グラウンド
6	DSR (Data Set Ready)
7	送信リクエスト
8	送信準備完了
9	リング インジケータ

- RS232C ケーブル

  コネクタ:9 ピン D-Sub

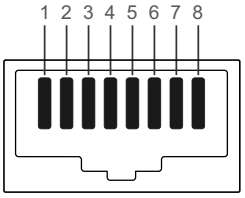
  ケーブル:クロスケーブル



-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス	Rx	2	-------->	3	Tx	メス
	Tx	3	<--------	2	Rx	
	Gnd	5	----------	5	Gnd	

LAN ケーブル

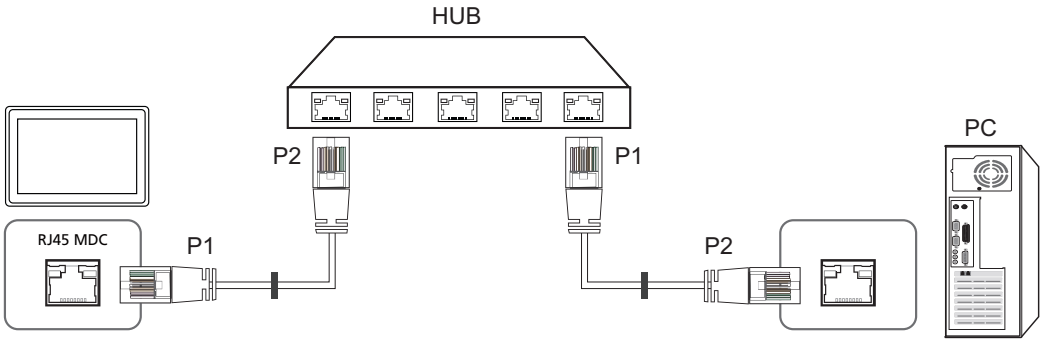
- ピン配置



ピン番号	標準色	信号
1	白色と橙色	TX+
2	橙色	TX-
3	白色と緑色	RX+
4	青色	NC
5	白色と青色	NC
6	緑色	RX-
7	白色と茶色	NC
8	茶色	NC

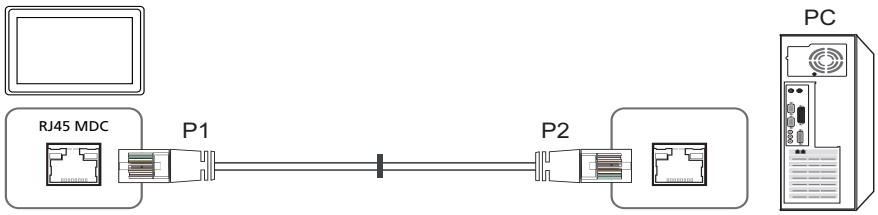
- コネクタ:RJ45

〈ダイレクト LAN ケーブル〉



信号	P1		P2	信号
TX+	1	<--------->	1	TX+
TX−	2	<--------->	2	TX−
RX+	3	<--------->	3	RX+
RX−	6	<--------->	6	RX−

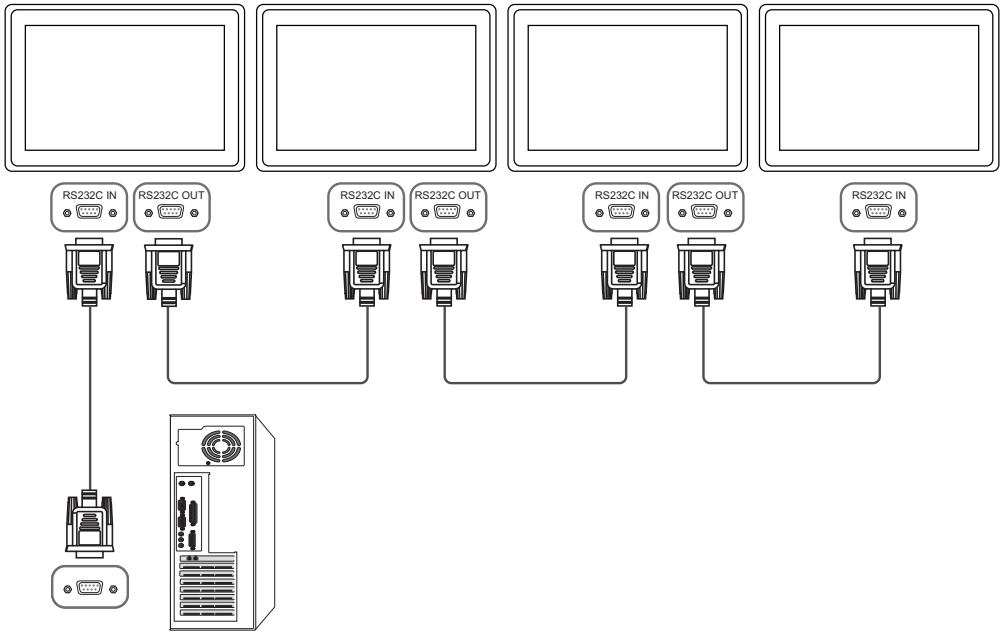
〈クロス LAN ケーブル〉



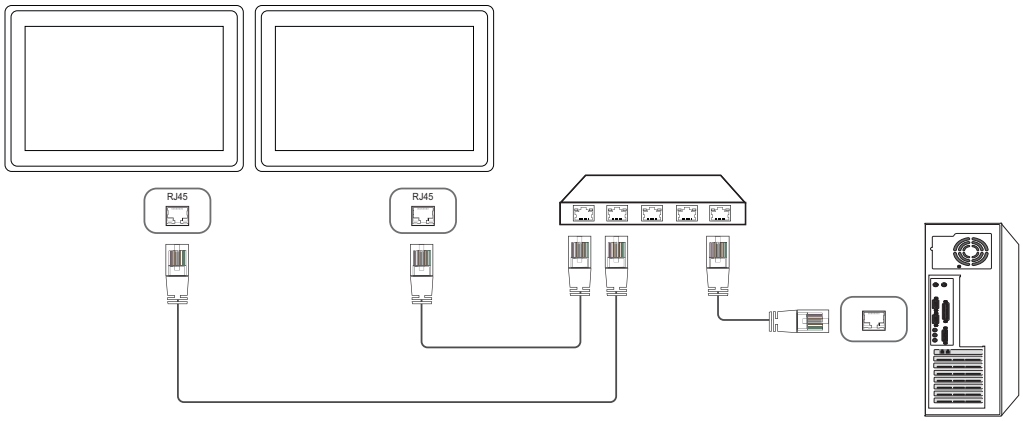
信号	P1		P2	信号
TX+	1	<--------->	3	RX+
TX−	2	<--------->	6	RX−
RX+	3	<--------->	1	TX+
RX−	6	<--------->	2	TX−

1.4.2 接続

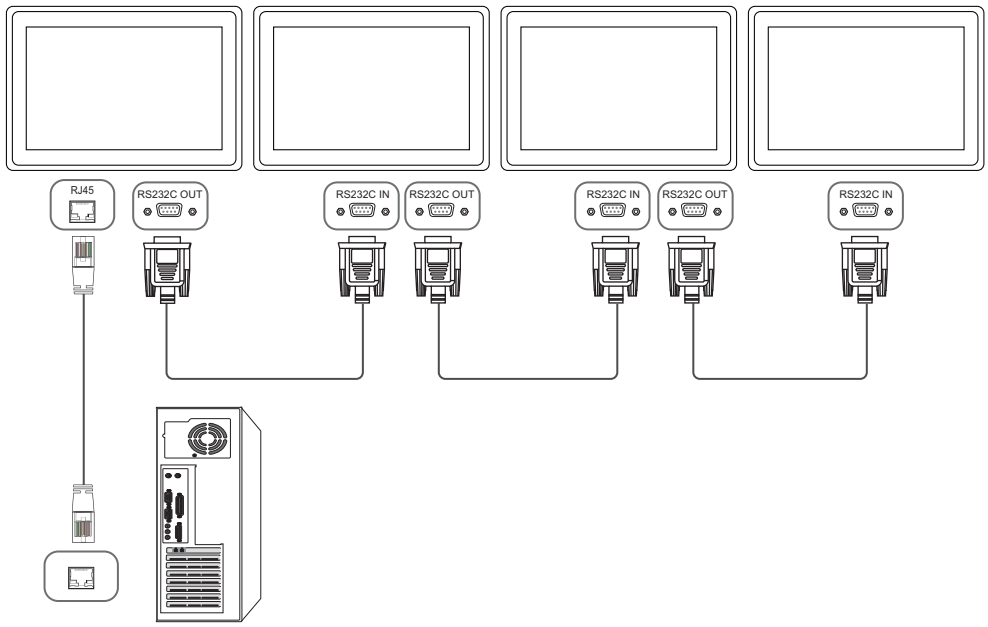
- 接続 1



- 接続 2



- 接続 3


RJ45
RS232C OUT
RS232C IN
RS232C OUT
RS232C IN
RS232C OUT
RS232C IN

1.4.3 制御コード

制御状態の表示 (制御コマンド取得)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		0	

制御 (制御コマンドのセット)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		1	値	

コマンド

番号	コマンド タイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	-
4	画面サイズ制御	0x15	-
5	ビデオ ウォール モード制御	0x5C	0~1
6	安全ロック	0x5D	0~1

- 発行された ID は 16 進数で表示されます。ただし、ID 1 は 0xFF と表示されます。
- 実行されるすべての通信は、16 進数です。チェックサムの計算は、ヘッダを除くすべての値を合計して行います。以下に示すようにチェックサムの合計が 2 桁を超える場合は (11+FF+01+01=112)、最初の桁を消します。

例: 電源 On & ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

↓

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	12
0xAA	0x11		1	1	

- シリアルケーブルで接続されたすべてのデバイスを ID に関わらず同時に制御するには、ID を "0xFE" に設定してコマンドを送信します。コマンドはデバイスごとに実行されますが、ACK は返されません。

電源制御

- 機能

  製品の電源オン / オフは、PC を使用して行うことができます。

- 電源状態の表示 (Get Power ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

- 電源 オン / オフの設定 (Set Power ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	″Power″	

  ″Power″: 製品に設定する電源コード。

  1 : 電源オン

  0 : 電源オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x11	″Power″	

  ″Power″: 製品に設定する電源コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x11	″ERR″	

  ″ERR″ : 発生したエラーを示すコード。

音量制御

- 機能

  製品の音量は、PC を使用して調整することができます。

- 音量状態の表示 (Get Volume Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

- 音量の設定 (Set Volume)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	″Volume″	

″Volume″: 製品に設定する音量値コード (0-100)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x12	″Volume″	

″Volume″: 製品に設定する音量値コード (0-100)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x12	″ERR″	

″ERR″ : 発生したエラーを示すコード。

入力信号制御

- 機能

  製品の入力ソースは、PC を使用して変更することができます。

- 入力信号状態の表示 (Get Input Source Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

- 入力信号の設定 (Set Input Source)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	"Input Source"	

"Input Source": 製品に設定する入力ソース コード。

0x14	PC
0x1E	BNC
0x18	DVI
0x0C	入力信号
0x04	S-Video
0x08	コンポーネント
0x20	MagicInfo
0x1F	DVI_video
0x30	RF(TV)
0x40	DTV
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC
0x25	ディスプレイ ポート

- DVI_video、HDMI1_PC および HDMI2_PC は、Set コマンドと共に使用できません。これらの入力信号は、"Get" コマンドにのみ応答します。
- 本モデルは、BNC、S-Video、HDMI2、および HDMI2_PC ポートには対応していません。
- MagicInfo は、MagicInfo 機能を備えたモデルでのみ使用することができます。

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x14	"Input Source"	

"Input Source": 製品に設定する入力ソース コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x14	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード。

画面サイズ制御

- 機能

  PC を使用して画面サイズを変更します。

  画像分割 が **オン** のときは、画面サイズを変更できません。

- 画面サイズの状態を取得する

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x15		0	

- 画面サイズを設定する

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	″Aspect″	

″Aspect″ : 画像サイズのコード

PC1、PC2、DVI、DNC、HDMI_PC	
0x10	16 : 9
0x18	4 : 3
AV、S-Video、Component、DVI_Video、HDMI_Video	
0x00	自動ワイド
0x01	16 : 9
0x04	ズーム
0x05	ズーム1
0x06	ズーム2
0x31	ワイドズーム
0x0B	4 : 3
0x0C	ワイド フィット
0x0D	カスタム
0x0E	スマート ビュー 1
0x0F	スマート ビュー 2
共通	
0x09	スキャンのみ(画面フィット)
0x20	元の比率

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x15	"Aspect"	

"Aspect" : 画像サイズのコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x15	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード。

画面分割モード制御

- 機能

  画像分割 モードは、PC を使用して製品で有効にすることができます。

  この制御は、**画像分割** が有効になっている製品でのみ使用できます。

  この機能は MagicInfo では使用できません。

- 画面分割モードの表示 (Get Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

- 画面分割の設定 (Set Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	″Video Wall Mode″	

″Video Wall Mode″: Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード。

1 : **フルモード**

0 : **ナチュラル**

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x5C	″Video Wall Mode″	

″Video Wall Mode″: Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x5C	″ERR″	

″ERR″ : 発生したエラーを示すコード。

安全ロック

- 機能

  PC を使用して、製品の安全ロック機能のオン/オフを切り替えることができます。

  この制御は、電源のオン、オフに関わらずいつでも使用することができます。

- 安全ロック状態の表示 (Get Safety Lock Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

- 安全ロックの有効化または無効化 (Set Safety Lock Enable / Disable)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	"Safety Lock"	

"Safety Lock": 製品に設定する安全ロック コード。

1 : オン

0 : オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5D	"Safety Lock"	

"Safety Lock": 製品に設定する安全ロック コード。

- Nak

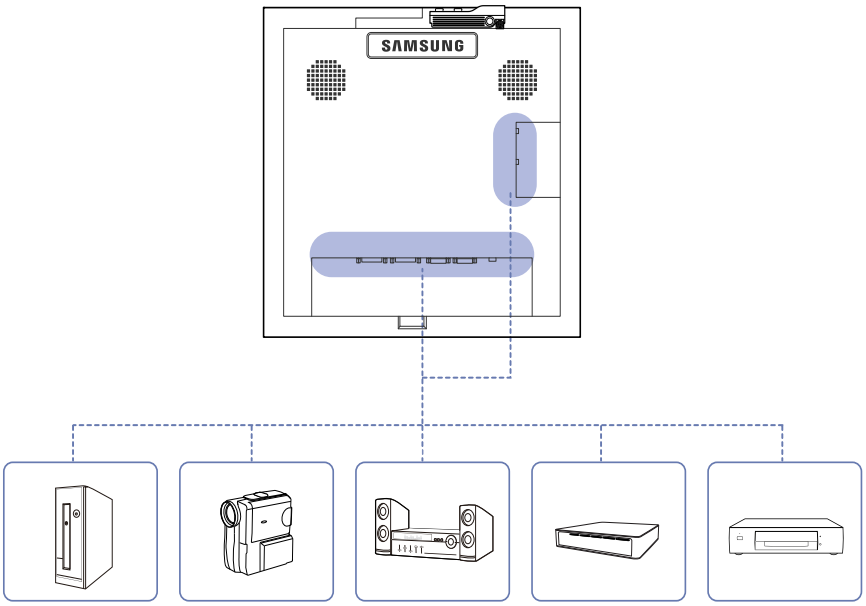
ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x5D	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード。

2 入力信号デバイスの接続と使用

2.1 接続の前に

製品に他のデバイスを接続する前に、以下をチェックします。この製品に接続可能なデバイスには、PC、カムコーダー、スピーカー、セット トップ ボックスおよび DVD/Blu-Ray ディスク プレイヤーが含まれます。



2.1.1 接続前のチェックポイント

- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- サウンドポートは左に白、右に赤を正しく接続します。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

2 入力信号デバイスの接続と使用

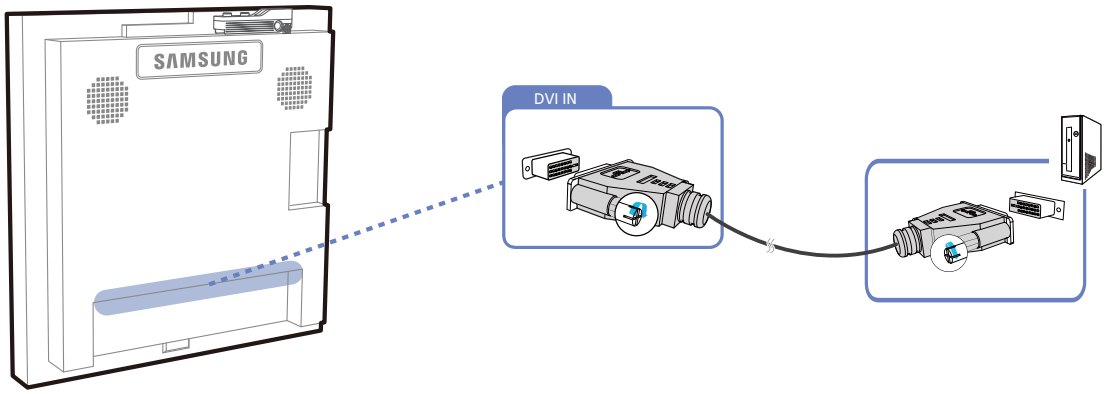
2.2 PC の接続と使用

2.2.1 PC への接続

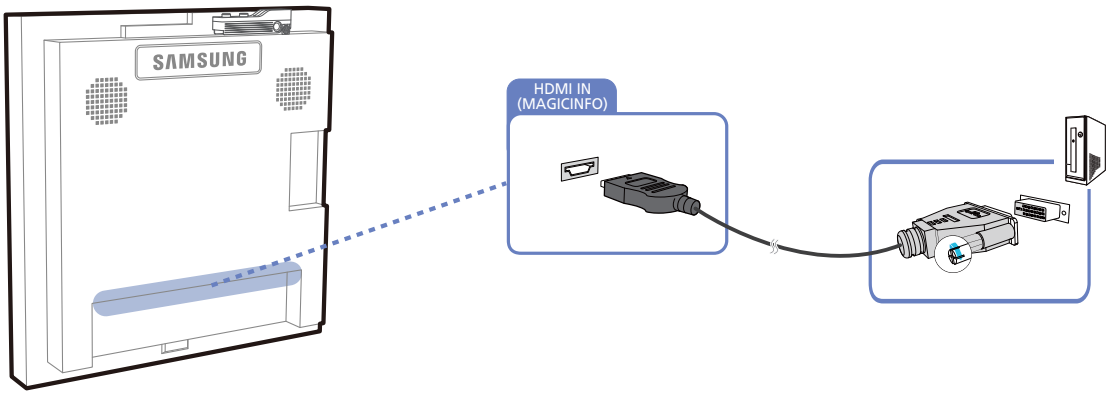
- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- 本製品には、PC を複数の方法で接続することができます。
  お使いの PC に適した接続方法を選んでください。

  - 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
  - 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

DVI ケーブルを使用した接続 (デジタルタイプ)



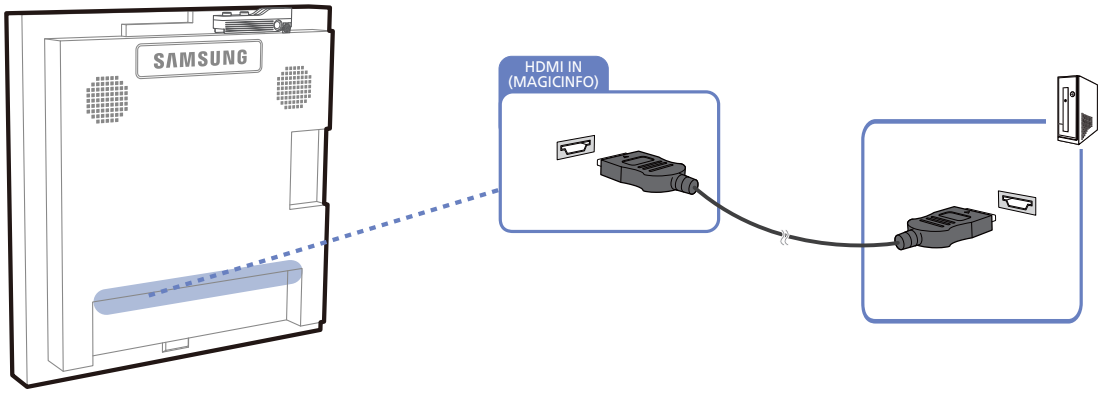
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続



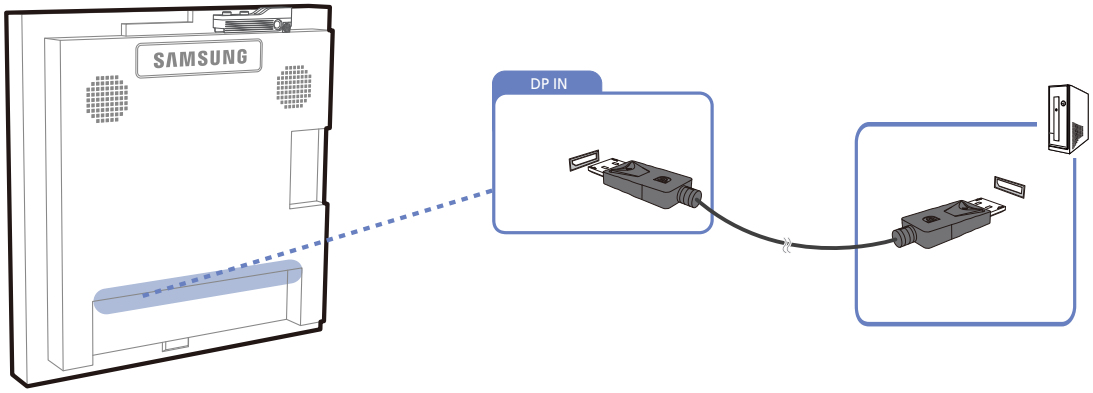
HDMI-DVI を使用して PC を製品に接続する場合、**外部入力名編集** を **DVI PC** に設定して、PC に保存されたビデオおよびオーディオ コンテンツにアクセスします。

2 入力信号デバイスの接続と使用

HDMI ケーブルを使用した接続



DP ケーブルを使用した接続

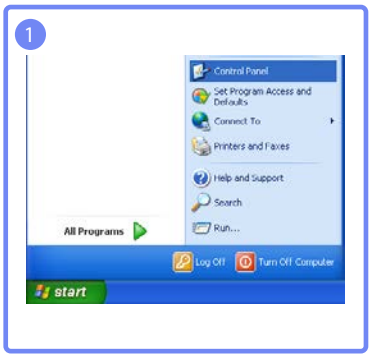


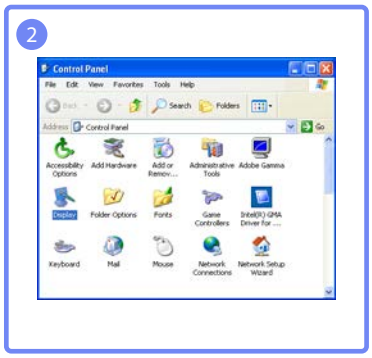
2.2.2 解像度の変更

PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

Windows XP での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **設定**に移動して、解像度を変更します。



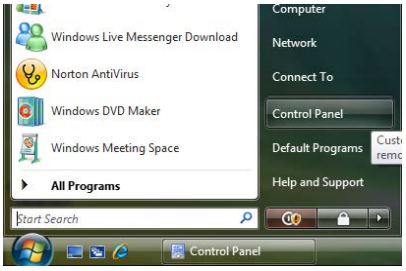


2 入力信号デバイスの接続と使用

Windows Vista での解像度の変更

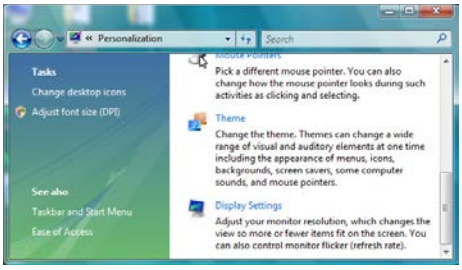
コントロール パネル → **個人設定** → **画面の設定** の順で選択して、解像度を変更します。

1



2

3



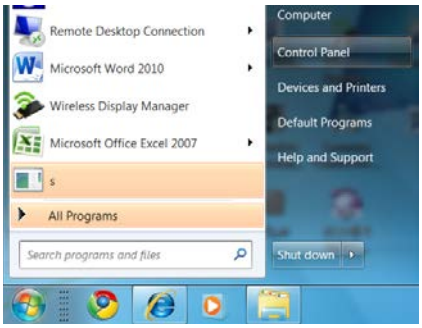
4

2 入力信号デバイスの接続と使用

Windows 7 での解像度の変更

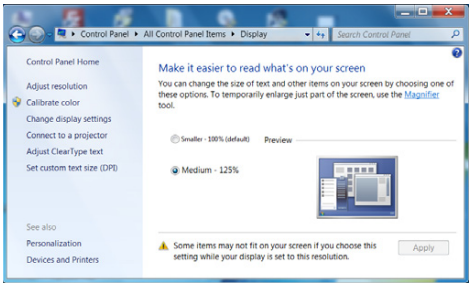
コントロール パネル → **画面** → **画面の解像度** に移動して、解像度を変更します。

1

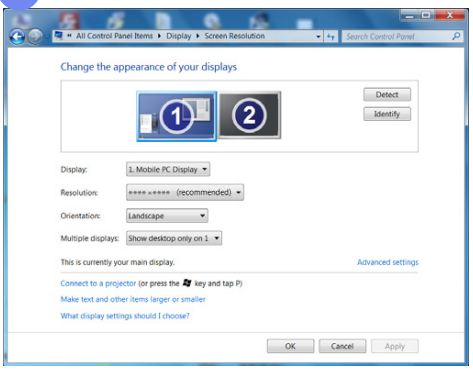


2

3

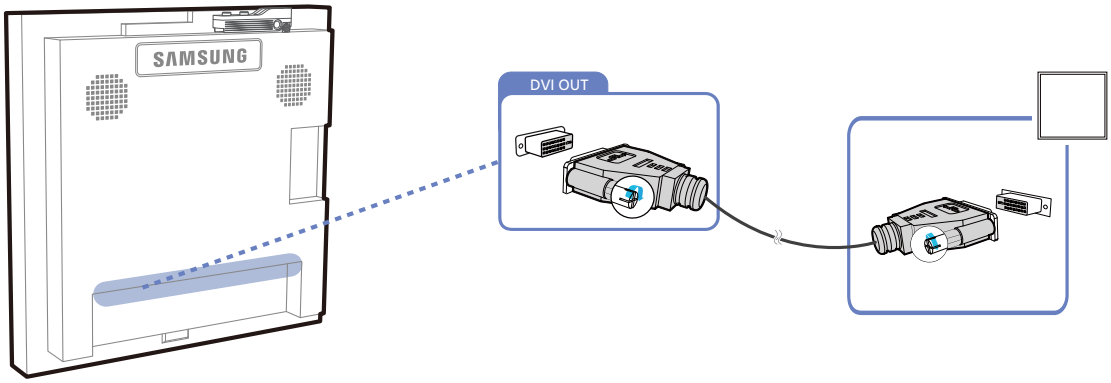


4



2 入力信号デバイスの接続と使用

2.3 外部モニターを接続する



- 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。
- Loopout 機能を使用して基本ディスプレイの画面を複製することができます。基本ディスプレイの [DVI OUT] を別のディスプレイの [DVI IN] または [HDMI IN] に接続してください。
- フル HD までの解像度に対応しています。対応入力ソースは、DVI IN、DP IN および HDMI IN です。複数のモニターを直列に連結した構成をご利用の場合、接続可能なモニター数が限定されます。
- 本製品の [DVI OUT] ポートは、HDCP 入力をサポートしません。

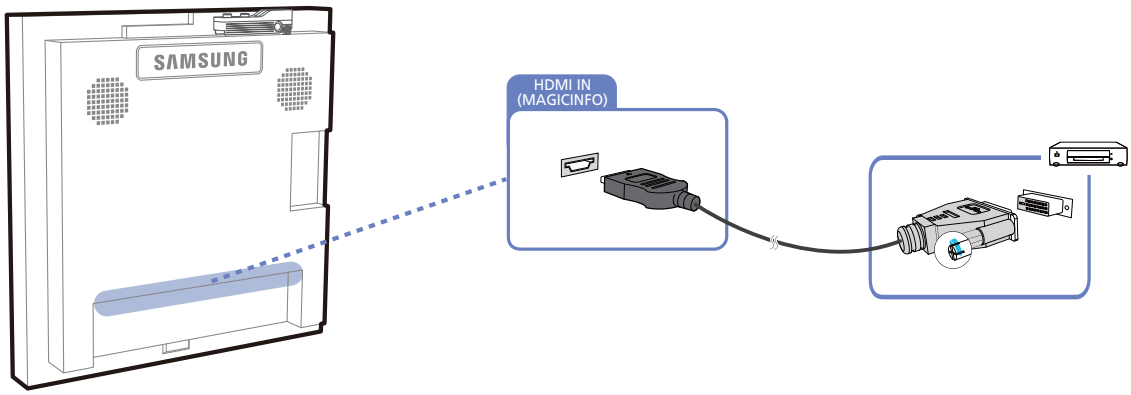
2 入力信号デバイスの接続と使用

2.4 ビデオ デバイスへの接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- ケーブルを使用して、ビデオ デバイスを本製品に接続することができます。

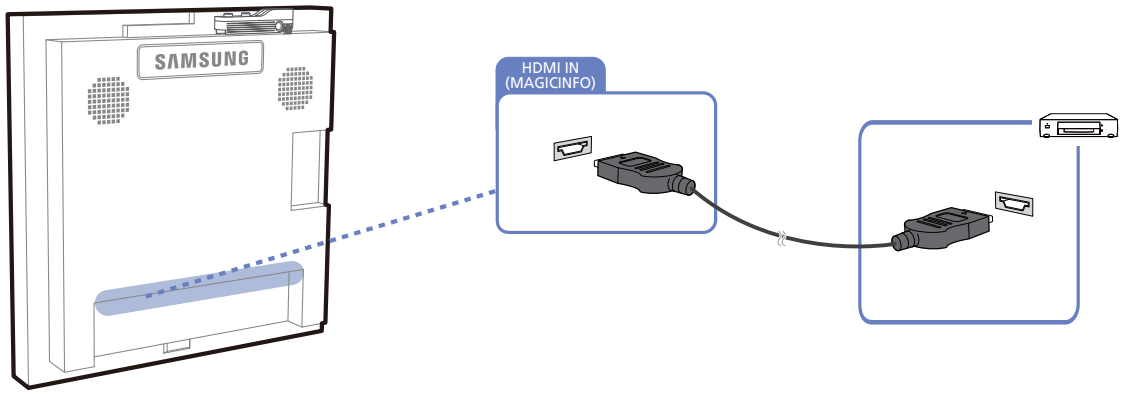
  - 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。
  - 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
  - リモコンの SOURCE ボタンを押して、ソースを変更します。

2.4.1 HDMI-DVI ケーブルを使用した接続



- 製品が HDMI-DVI ケーブルでビデオ デバイスに接続されている場合、オーディオは有効になりません。これを解決するには、製品とビデオ デバイスのオーディオ ポートにオーディオ ケーブルを追加します。
- サポートされる解像度には、1080p (50/60Hz)、720p (50/60Hz)、480p および 576p が含まれます。

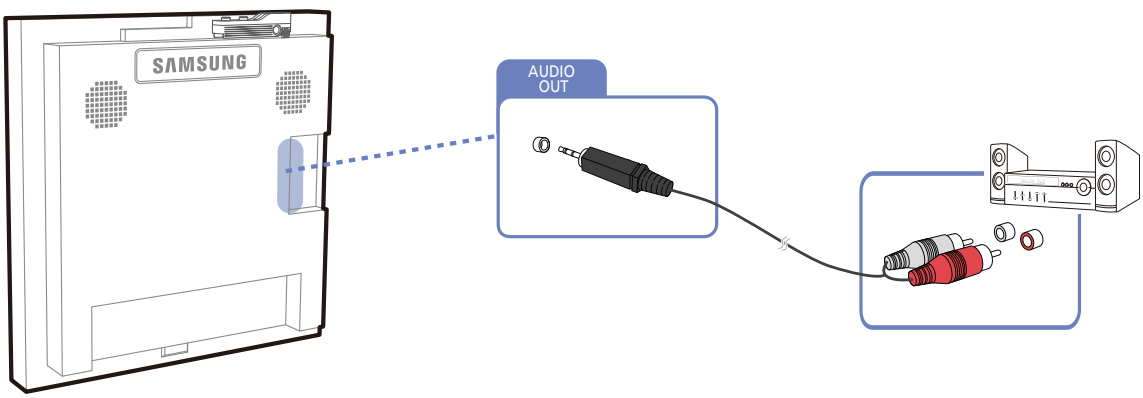
2.4.2 HDMI ケーブルを使用した接続



HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用する (1080pまで)

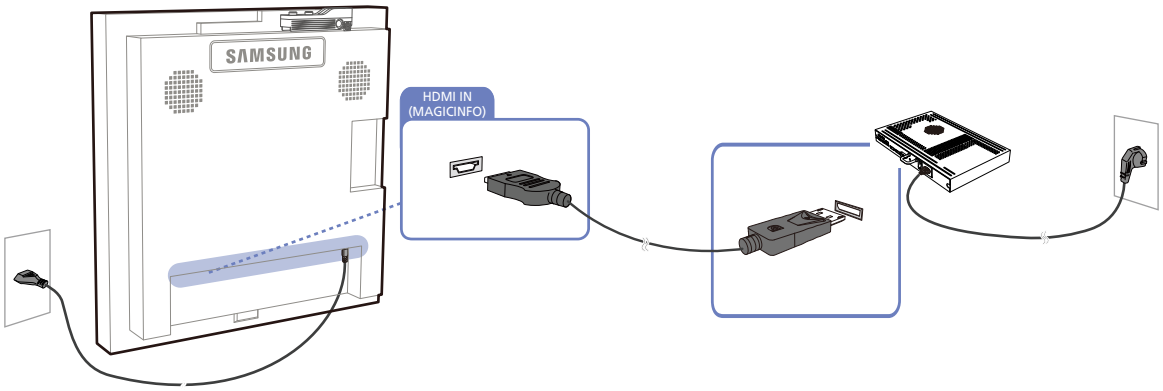
- 画質や音質を良くするためには、HDMI ケーブルを使用してデジタル デバイスに接続してください。
- HDMI ケーブルはデジタル ビデオ信号やデジタル オーディオ信号をサポートします。また、オーディオ ケーブルを必要としません。
  - HDMI 出力をサポートしないデジタル デバイスに製品を接続するには、HDMI / DVI ケーブルやオーディオ ケーブルを使用してください。
- 古いバージョンの HDMI モードを使用する外部機器を製品に接続している場合は、映像が正常に表示されなかったり (または全く表示されない)、音声が機能しないことがあります。このような問題が起きた場合は、外部機器のメーカーに HDMI バージョンについて問い合わせ、バージョンが古い場合は最新のものを要求してください。
- HDMI ケーブルは 14 mm 以下のものを使用してください。
- 認定 HDMI ケーブルを購入してください。認定外の HDMI ケーブルを使用すると、映像が表示されなかったり接続エラーが起こることがあります。
- 標準ハイスピード HDMI ケーブル、またはイーサネット対応 HDMI ケーブルをお勧めします。本製品では HDMI を通したイーサネット機能はサポートしていません。

2.4.3 オーディオ システムに接続する



2 入力信号デバイスの接続と使用

2.5 ネットワーク ボックスの接続 (別売り)



ネットワーク ボックスの接続方法についての詳細は、ご購入のネットワーク ボックスに付属のユーザー マニュアルを参照してください。

2.5.1 MagicInfo

MagicInfo を使用するには、ネットワーク ボックス (別売) を製品に接続する必要があります。

- MagicInfo 設定を変更するには、デスクトップの "MagicinfoSetupWizard" を実行します。
- MagicInfo の使用方法についての詳細は、ネットワーク ボックスに付属の DVD を参照してください。
- このセクションの情報は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。
- ネットワーク ボックスを提供した以外のオペレーティング システムのインストールした、オペレーティング システムを以前のバージョンに戻した、あるいは所与のオペレーティング システムと互換性のないソフトウェアをアインストールした後に問題が発生した場合、技術サポートのサービスを受けることができなくなり、サービス技術者の出張費用も変更されます。製品の交換または返品も受け付けられません。

2 入力信号デバイスの接続と使用

2.6 入力ソースを変更する

2.6.1 外部入力

MENU → 入力 → 外部入力 → ENTER

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

[入力] メニューの詳細については、89 ページ を参照してください。

- DVI
- HDMI
- ディスプレイ ポート
- MagicInfo – ネットワーク ボックスが接続されているときに有効になります。

リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

変換したい入力信号デバイスに誤った入力信号を選択すると、画面に正しく表示されない場合があります。

3 MDC の使用

MDC (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

3.1 マルチコントロール の構成設定

MENU → マルチコントロール → ENTER

SET に個別の ID を割り当てます。

3.1.1 ID 設定

SET に固有の ID を割り当てます。

3.1.2 ID 入力

SET ごとに送信機の機能を選択します。送信機設定に対応する ID を持つ SET のみが有効になります。

3.1.3 MDC 接続

MDC 入力を受信するポートを選択します。

- RS232C MDC
  RS232C MDC ケーブルを通じて MDC と通信します。
- RJ45 MDC
  RJ45 MDC ケーブルを通じて MDC と通信します。

3.1.4 ネットワーク設定

- IP 設定 :手動, 自動
- IP アドレス:IP 設定 が 手動 に設定されている場合は、IP アドレス を手動で入力します。
- サブネット マスク:IP 設定 が 手動 に設定されている場合は、サブネット マスク を手動で入力します。
- ゲートウェイ :IP 設定 が 手動 に設定されている場合は、ゲートウェイ を手動で入力します。

3 MDC の使用

3.2 MDC プログラムのインストール/アンインストール

3.2.1 インストール方法

1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

2 **MDC Unified** のインストール プログラムをクリックします。

ソフトウェアのインストール ウィンドウがメイン画面に表示されない場合には、CD の MDC フォルダにある "MDC Unified" 実行ファイルを使用してインストールします。

3 インストール用の言語を選択します。次に、"OK" をクリックします。

4 "Welcome to the InstallShield Wizard for MDC_Unified" 画面が表示されたら、"Next" をクリックします。

5 表示された "License Agreement" ウィンドウで、"I accept the terms in the license agreement" を選択して、"Next" をクリックします。

6 表示される "Customer Information" ウィンドウで、すべての情報フィールドに記入して "Next" をクリックします。

7 表示される "Destination Folder" ウィンドウで、プログラムをインストールするディレクトリを選択して "Next" をクリックします。

ディレクトリ パスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリ パスにインストールされます。

8 表示される "Ready to Install the Program" ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを確認してから "Install" をクリックします。

9 インストールの進捗状況が表示されます。

10 表示される "InstallShield Wizard Complete" ウィンドウで "Finish" をクリックします。

"Launch MDC Unified" を選択して "Finish" をクリックし、MDC プログラムをすぐに実行します。

11 インストール後には、デスクトップ上に **MDC Unified** ショートカット アイコンが作成されます。

- MDC の実行アイコンは、PC システムや製品の仕様によって表示されないことがあります。
- 実行アイコンが表示されない場合には、F5 を押してください。

3.2.2 アンインストール

1 **スタート** メニューの **設定** > **コントロール パネル** を選択して、**プログラムの追加と削除** をダブルクリックします。

2 リストから **MDC Unified** を選択して、**変更/削除R** をクリックします。

MDC のインストールは、グラフィック カード、マザー ボードおよびネットワークの状態によって異なります。

3 MDC の使用

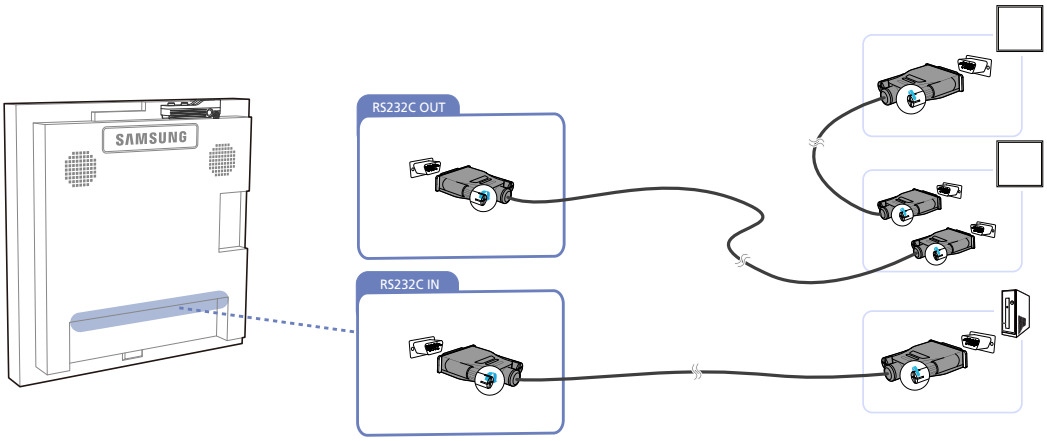
3.3 MDC とは?

MDC (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

3.3.1 MDC の接続

RS-232C (シリアル データ通信標準規格) による MDC の使用

RS-232C シリアル ケーブルを PC のシリアル ポートとモニターに接続します。

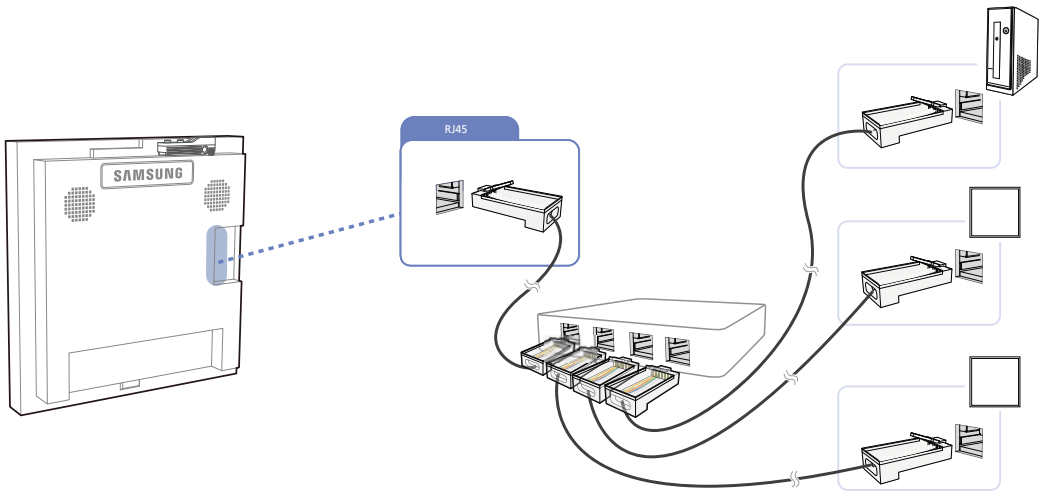


3 MDC の使用

イーサネットによる MDC の使用

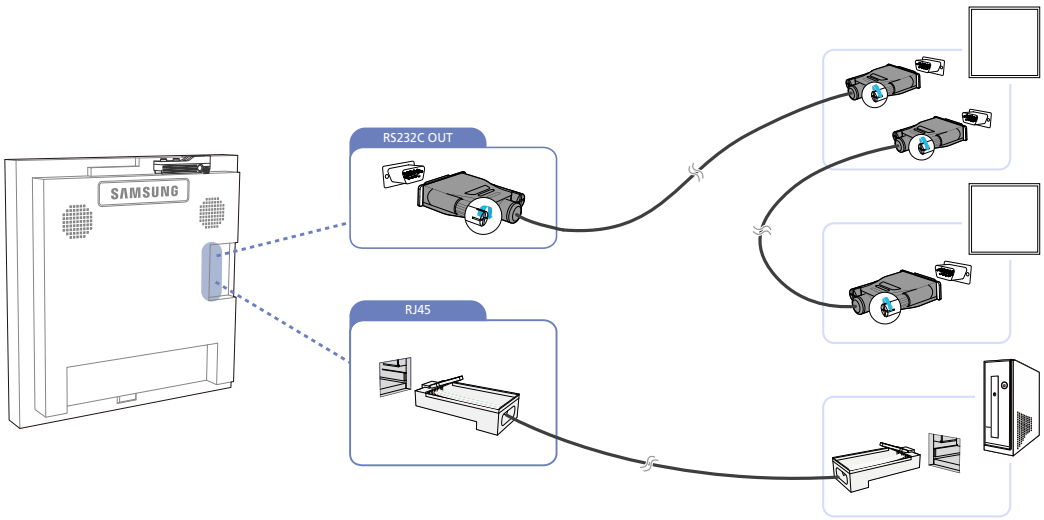
プライマリのディスプレイ装置の IP アドレスを入力して、PC にデバイスを接続します。RS-232C シリアル ケーブルを使ってディスプレイ装置をもうひとつ接続できます。

LAN ケーブルを使用して通信する



本製品の [RJ45] ポートと HUB の LAN ポートを使用して複数の製品を接続することができます。

LAN ケーブル経由で RS232C シリアル ケーブルを使用して通信する



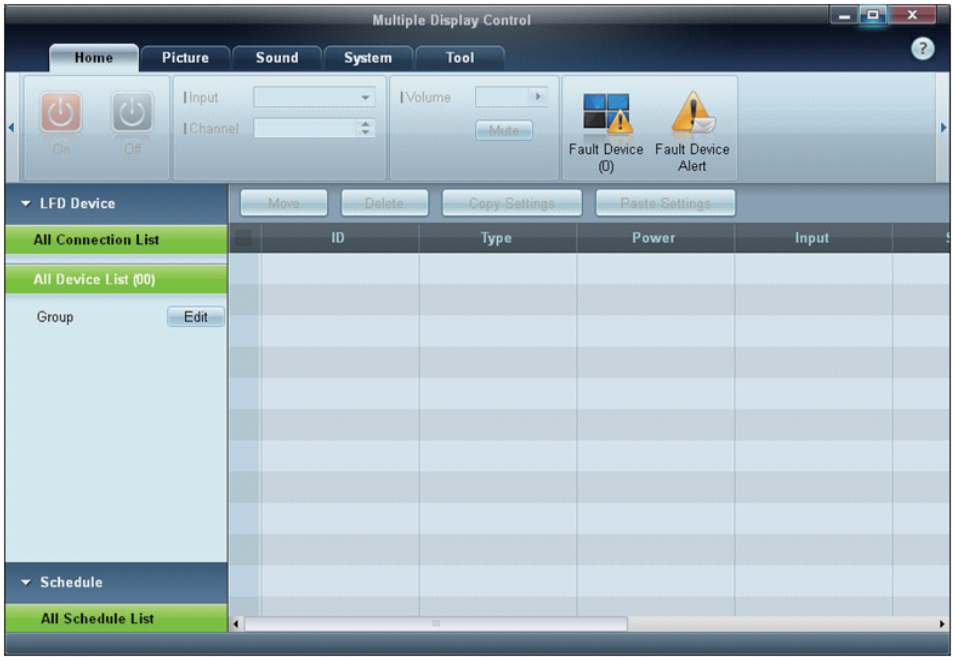
本製品の [RS232C OUT] ポートを使用して複数の製品を接続することができます。

3.3.2 接続の管理

接続の管理には、**接続リスト**と**接続リスト変更オプション**が含まれます。

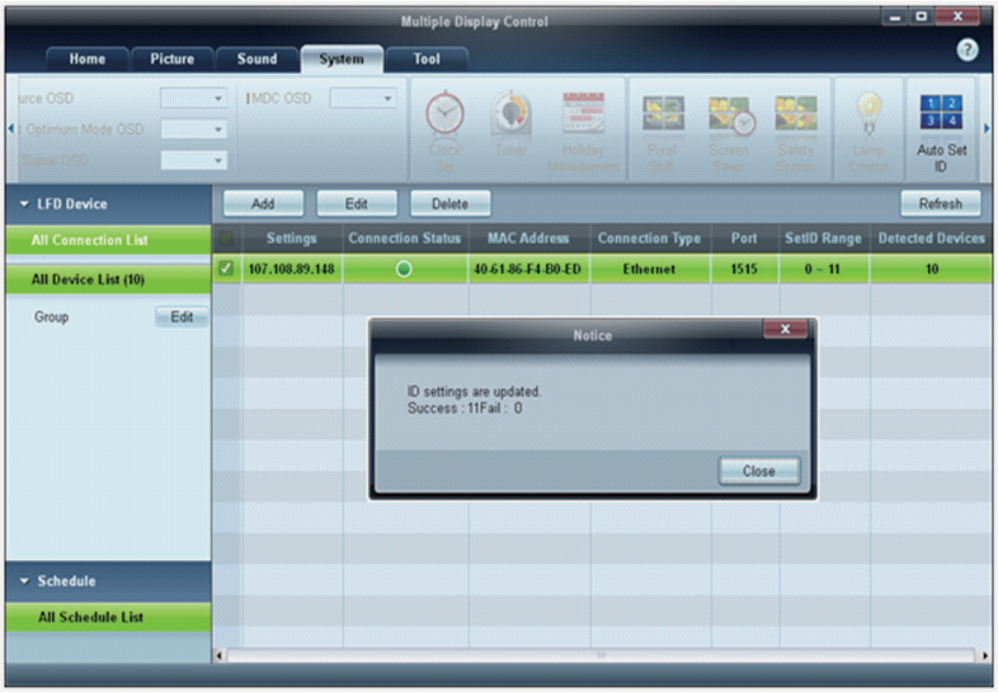
接続リスト – 接続リストには接続設定 (IP/COM、ポート番号、MAC、**Connection Type**) などの接続に関する詳細、接続状態、**Set ID Range**、および検出されたデバイスの詳細が表示されます。接続ごとに、シリアル デイジー チェーン機能で接続したデバイスを最大 100 台収容できます。接続から検出されたすべての LFD がデバイス リストに表示され、ユーザーによるグループ分けや検出されたデバイスへのコマンド送信ができます。

接続リスト変更オプション – 接続変更オプションには**Add**、**Edit**、**Delete**、および**Refresh**が含まれます。



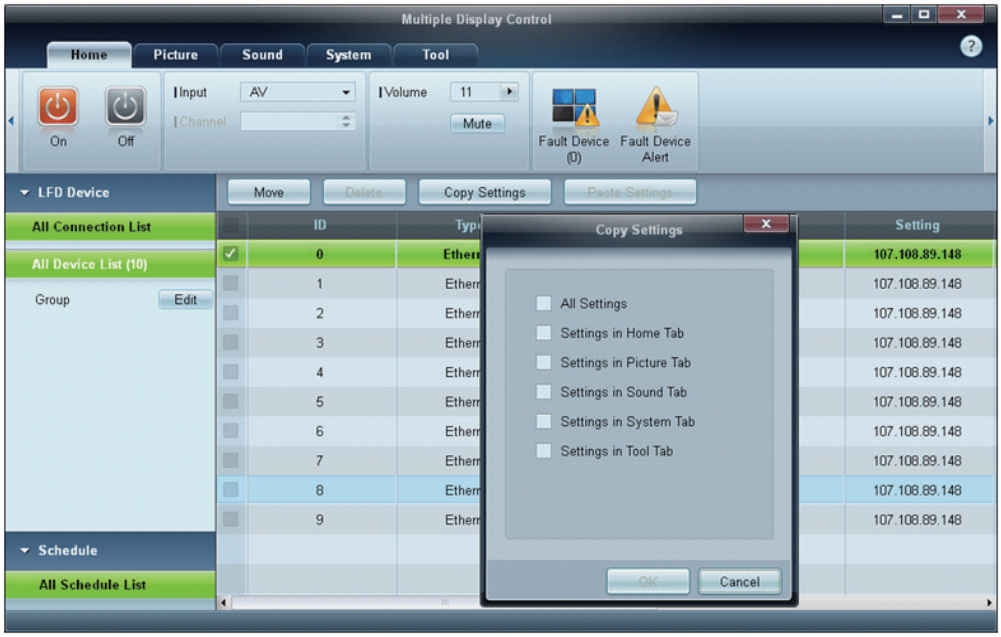
3.3.3 Auto Set ID

Auto Set ID機能により、選択した接続のデイジー チェーンに接続されたすべての LFD にセット ID が割り振られます。接続あたりの LFD の最大数は 100 個です。セット ID は、デイジー チェーンの並び順に 1 から 99 まで割り振られ、最後は セット ID 0 になります。



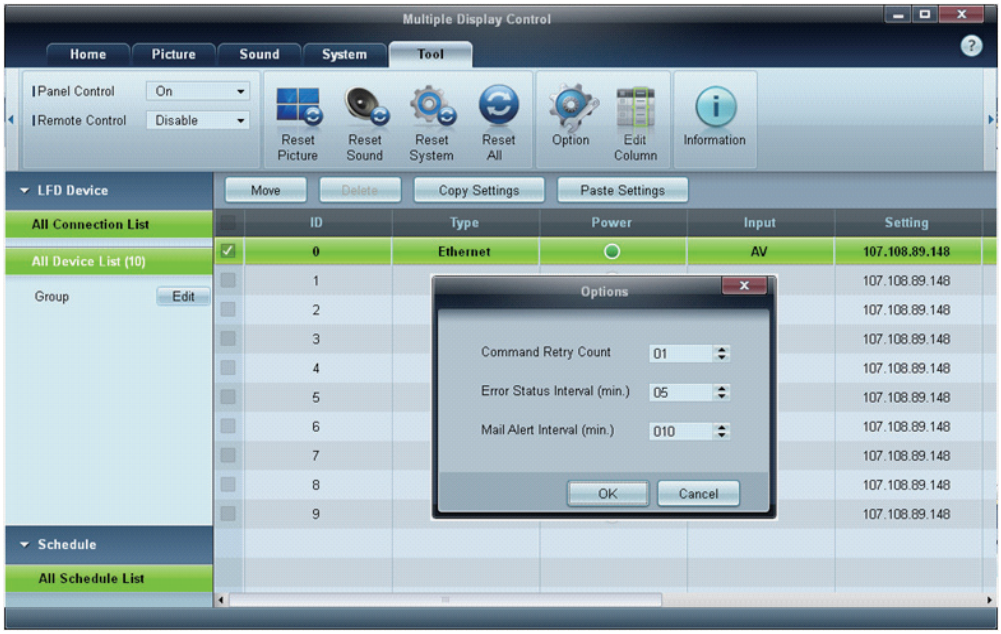
3.3.4 クローニング

クローニング機能を使うと、任意の LFD の設定をコピーして選択した複数の LFD に適用できます。コピー設定オプション ウィンドウを使って、クローニングする特定のタブ カテゴリまたはすべてのタブ カテゴリを選択できます。



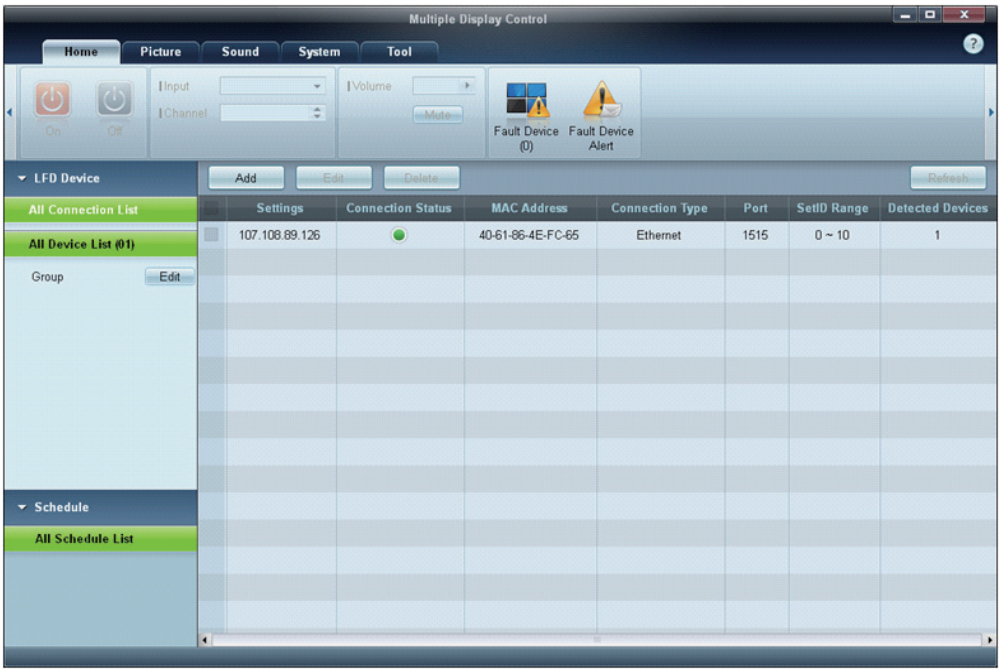
3.3.5 コマンドの再試行

この機能は、LFD からの応答がないか応答が破損している場合に MDC コマンドを再試行する最大数を指定するのに使用します。再試行カウント値は、MDC オプション ウィンドウから設定できます。再試行カウント値は 1～10 の間の値とし、デフォルト値は 1 になります。



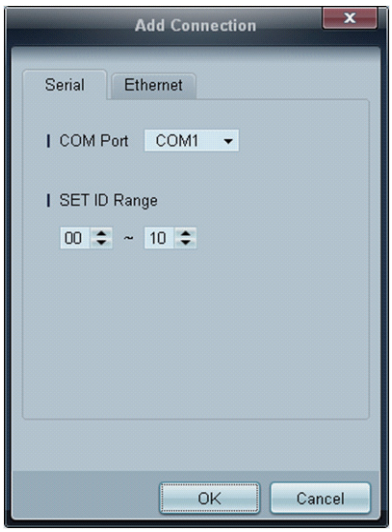
3.3.6 MDC を開始する

1 プログラムを起動するには、**スタート** → **プログラム** → **Samsung** → **MDC Unified** をクリックします。

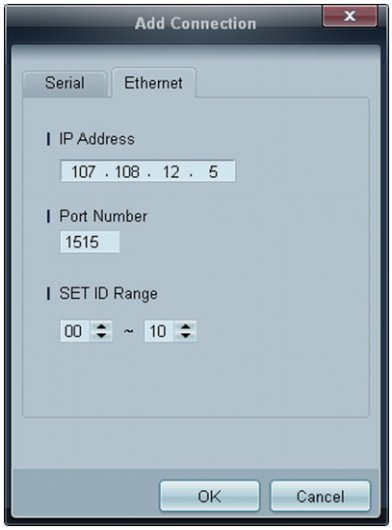


2 **Add**をクリックしてディスプレイ装置を追加します。

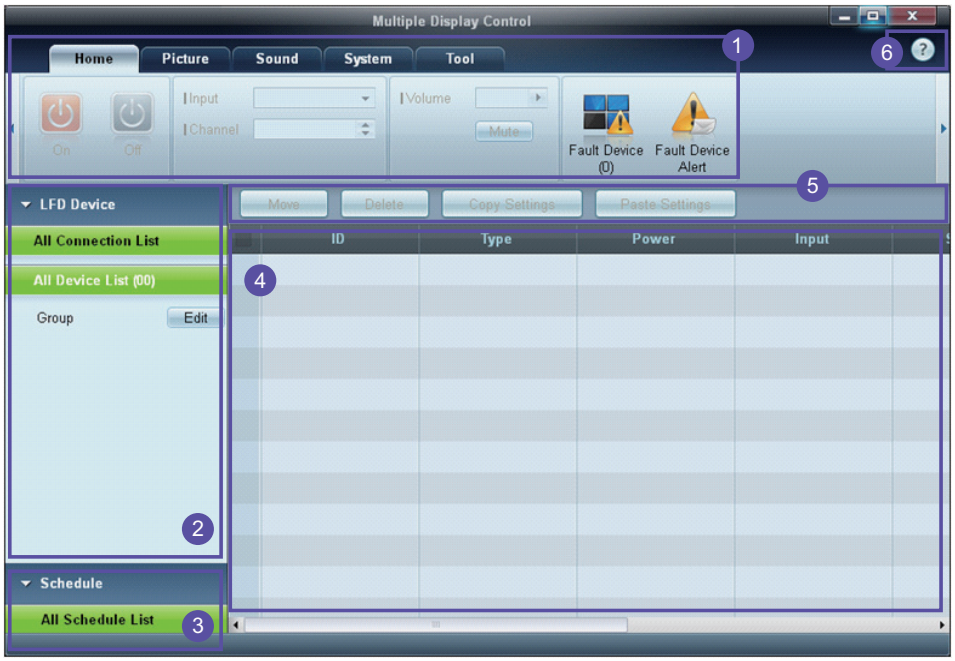
- 接続が RS232C を介して確立されている場合は、**Serial**に移動して**COM Port**を指定します。



- 接続がEthernetを介して接続されている場合は、ディスプレイ装置に関して入力した IP を入力します。



3.3.7 メイン画面のレイアウト



1 メニュー バー	ディスプレイ装置のステータスまたはプログラムのプロパティを変更します。
2 デバイス分類項目	接続されているデバイス装置またはデバイス グループをリスト表示します。
3 スケジュール分類項目	ディスプレイ装置のスケジュールをリスト表示します。
4 セット リスト	調整するディスプレイ装置を選択します。
5 セット リストの変更	セットを追加、編集、再グループ化、または削除します。
6 ヘルプ トピック	プログラムのヘルプ トピックを表示します。

3.3.8 メニュー

選択したデバイスの電源のオンまたはオフ、入力ソースまたは音量の変更ができます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、Homeタブを選択します。

1 Home

項目を選択して対応する設定を変更します。

電源

- **On** : 選択したディスプレイの電源をオンにします。
- **Off**: 選択したディスプレイの電源をオフにします。

Input

- 入力ソース :入力ソースを変更します。

  - 使用できる入力ソースは接続されたディスプレイ装置のモデルによって異なります。
  - 入力ソースは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ変更できます。

- **Channel** : チャンネルを変更します。

  - TV チャンネルは上下の矢印キーで変更できます。
  - チャンネルは、入力ソースが**TV**になっている場合にのみ変更できます。
  - すでに登録されているチャンネルのみ選択できます。

2 Volume

音量の変更またはミュートは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ行えます。

Volume

- 音量はスライド バーを使って 0～100 の範囲で変更できます。
  選択したディスプレイの音量を調整します。

入力

- 選択したディスプレイの**Mute**を有効または無効にします。
  Muteがオンになっているときに**Volume**を調整すると、**Mute**は自動的に無効となります。

③ Alert

- **Fault Device**
  - このメニューには、ファン エラー、温度エラー、明るさセンサー エラー、またはランプ エラーが発生しているディスプレイ装置のリストが表示されます。

    ディスプレイ装置をリストから選択します。**Repair**ボタンが有効になります。更新ボタンをクリックしてディスプレイ装置のエラー ステータスを更新します。復旧したディスプレイ装置は、**Fault Device List**から除かれます。

Fault Device Alert

- エラーが検出されたディスプレイ装置は、電子メールで報告されます。

  必要なフィールドすべてに記入します。**Test**ボタンおよび**OK**ボタンが有効になります。**Sender**情報を確認して、**Recipient**を少なくともひとつ入力してください。

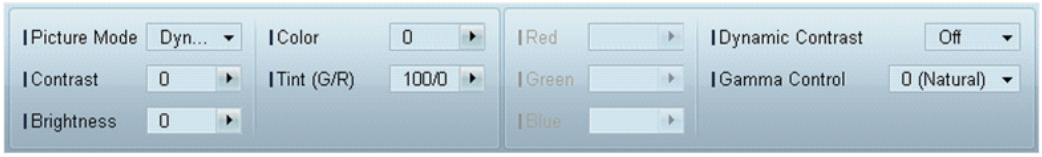
3.3.9 画面調整

画面設定（コントラスト、明るさ等）を調整できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Picture**タブを選択します。

カスタム

項目を選択して対応する画面設定を変更します。



- 入力ソースが**PC**になっているときは、**Color**および**Tint**は使用できません。
- 入力ソースが**Video**になっているときは、**Red**、**Green**、**Blue**および**PC Screen Adjustment**は使用できません。
- **PC Source**と**Video Source**の両方が選択されているときは、**Color**, **Tint**, **Color Tone**, **Color Temp**, **Red**, **Green**, **Blue**および**PC Screen Adjustment**は使用できません。

Contrast

- 選択したディスプレイ装置のコントラストを調整します。

Brightness

- 選択したディスプレイ装置の明るさを調整します。

Color

- 選択したディスプレイ装置の色度を調整します。

Tint (G/R)

- 選択したディスプレイ装置の色合いを調整します。

Color Tone

- 選択したディスプレイ装置の背景色を調整します。

Color Temp

- 選択したディスプレイ装置の色温度を変更します。

  Color ToneがOffに設定されているときには、このオプションが有効になります。

Red

- 選択したディスプレイ装置の赤色の強度をカスタマイズします。

Green

- 選択したディスプレイ装置の緑色の強度をカスタマイズします。

Blue

- 選択したディスプレイ装置の青色の強度をカスタマイズします。

オプション

Dynamic Contrast

選択したディスプレイ装置のDynamic Contrastを調整します。

Gamma Control

選択したディスプレイのガンマ値を変更します。

Auto Motion Plus

このオプションは動きの多いイメージの閲覧に使用します。

- Off : Auto Motion Plus機能を無効にします。
- Clear : Auto Motion Plusのレベルを「クリア」に設定します。このモードは色彩の鮮やかなイメージの閲覧に適します。
- Standard : Auto Motion Plusのレベルを「標準」に設定します。
- Smooth:Auto Motion Plusのレベルを「スムース」に設定します。このモードはイメージのスムースな表示に適しています。
- Custom : 画面の残像またはちらつきのレベルをカスタマイズします。
- Demo : Auto Motion Plusの技術デモを表示します。モードを変更した場合の結果をウィンドウの左側にプレビュー表示できます。

Auto Motion Plusは製品のモデルによっては利用できないことがあります。

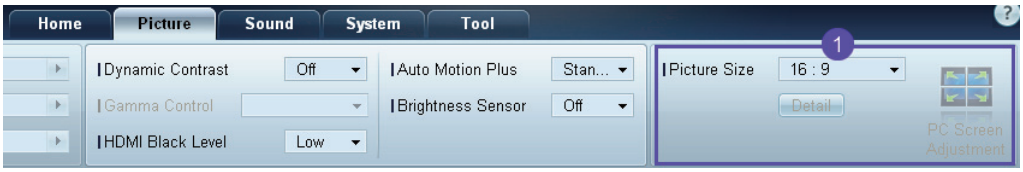
Brightness Sensor

選択したディスプレイ装置のBrightness Sensorを有効または無効にします。

Brightness Sensorは、周囲の光の強さを検出して画面の明るさを自動的に調整します。

Brightness Sensorは製品のモデルによっては利用できないことがあります。

サイズ



Picture Size

選択したディスプレイ装置の画面サイズを調整します。

詳細な設定をサポートしないモードにPicture Sizeが設定されてるときは、Detail項目は無効になります。

–/+ ボタンでZoomを調整できます。

画面のポジションは、上下左右の方向ボタンで調整できます。

Detail

選択した画面サイズの詳細を確認できます。

PC Screen Adjustment

周波数調整または微調整には、CoarseまたはFineの –/+ ボタンを使用できます。

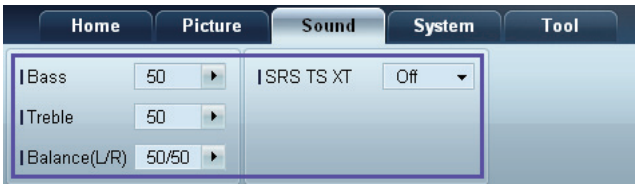
画面のポジションを調整するには、Positionの下にある 4 つのイメージのどれかをクリックします。

周波数を自動調整または微調整、もしくは画面のポジションを変更するには、Auto Adjustmentをクリックします。

3.3.10 音声調整

音声設定を変更できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Sound**タブを選択します。



選択したセットで**Bass**または**Treble**項目がサポートされていない場合は、その項目は無効になります。

Bass

選択したディスプレイの低音を調整します。

Treble

選択したディスプレイの高音を調整します。

Balance (L/R)

選択したディスプレイ装置の左右のスピーカーの音量を調整します。

SRS TS XT

選択したディスプレイ装置の**SRS TS XT**を有効または無効にします。

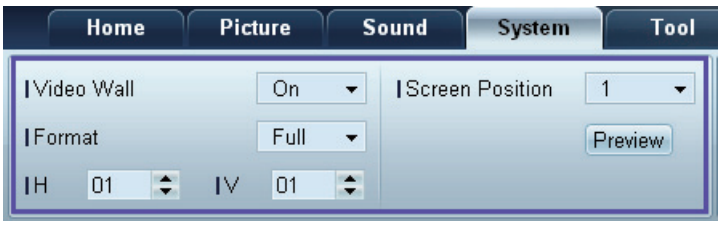
3.3.11　システムの設定

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、Systemタブを選択します。

Video Wall

Video Wall機能は、映像全体の一部を表示するか、接続された複数のディスプレイ装置のそれぞれに同じ映像を繰り返し表示するのに使用します。

Video Wallは、各デバイスが同じグループ内にある場合にのみ有効となります。

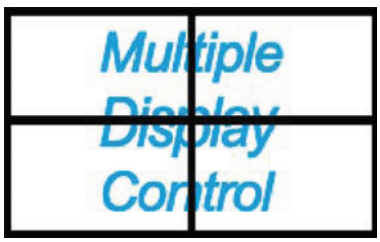


Video Wall

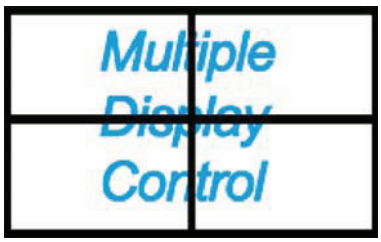
Video Wallを有効または無効にします。

Format

分割画面の表示方式を選択します。



Full



Natural

H

水平方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。

1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

H に 15 を割り当てた場合、V には最大 6 まで割り当てできます。

V

垂直方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。

1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

H に 15 を割り当てた場合、V には最大 6 まで割り当てできます。

Screen Position

ディスプレイのレイアウトを表示（画面ディバイダで設定）または必要に応じて変更します。

Video Wallがオンに設定されているときには、**Screen Position**と**Preview**が有効になります。

複数のセットが選択されている場合、H と V の設定が選択したセットのレイアウトに一致するときにだけ**Preview**が有効となることに注意してください。

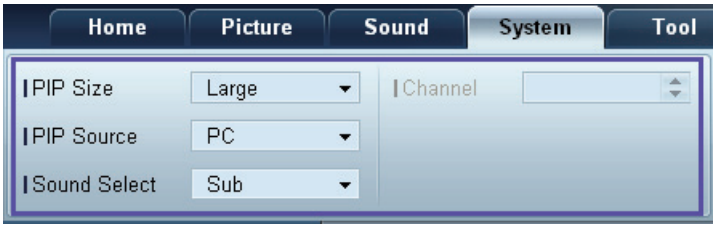
Positionを変更するには、セットを選択して新しいポジションにドラッグします。

画面ディバイダ設定の範囲はモデルによって異なります。

PIP

PIPの調整に必要な基本情報がメニュー画面に表示されます。

- Video WallがONになると、PIPは無効となります。
- PIPがONになると、Picture Sizeは無効となることに注意してください。



PIP Size

現在のディスプレイのPIP Sizeを表示します。

PIP Source

PIP 入力ソースを選択します。

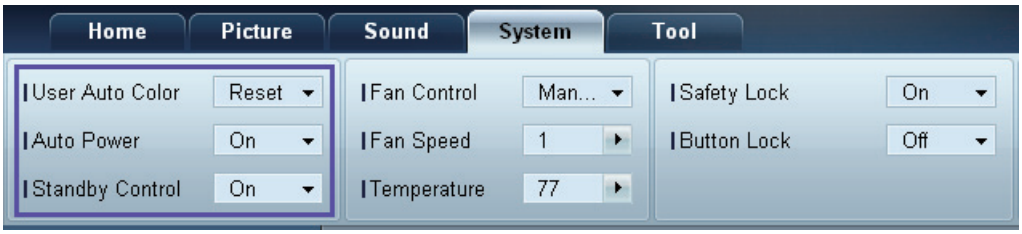
Sound Select

プライマリまたはセカンダリ画面のどちらか一方のサウンドを選択して有効にします。

Channel

PIP SourceがTVのときは、チャンネルを変更できます。

全般



User Auto Color

画面の色を自動的に調整します。

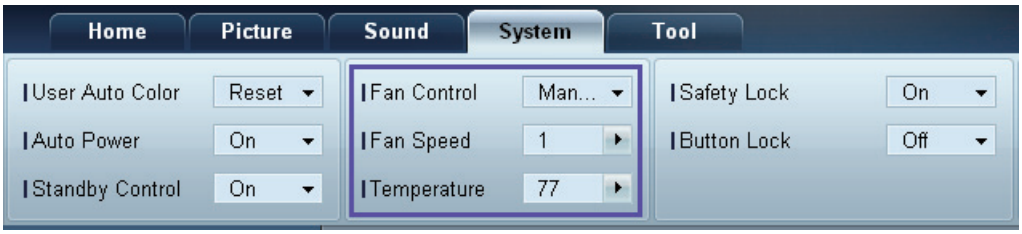
Auto Power

製品の電源が自動的にオンになるように設定します。

Standby Control

入力ソースが検出されなかったときは、スタンバイ モードで起動するように設定します。

ファンと温度



製品保護のためファン速度と内部温度の検出に必要な設定を行います。

Fan Control

ファン速度の設定方法を選択します。

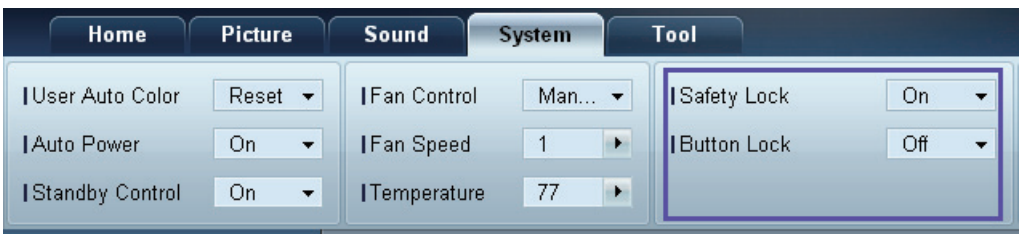
Fan Speed

ファン速度を設定します。

Temperature

温度の範囲を指定して内部温度を検出します。

セキュリティ



Safety Lock

オンスクリーン メニューをロックします。

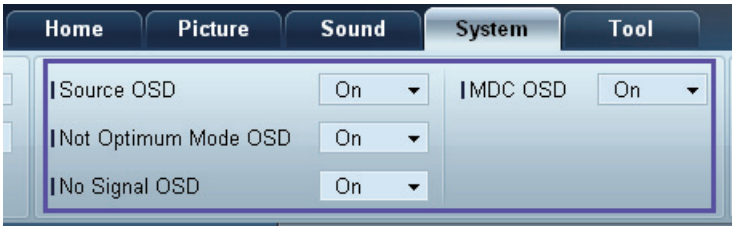
ロックを解除するには、**Safety Lock**を**Off**に設定します。

Button Lock

ディスプレイ装置のボタンをロックします。

ボタンのロックを解除するには、**Button Lock**を**Off**に設定します。

OSD ディスプレイ



Source OSD

Sourceが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

Not Optimum Mode OSD

非互換モードが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

No Signal OSD

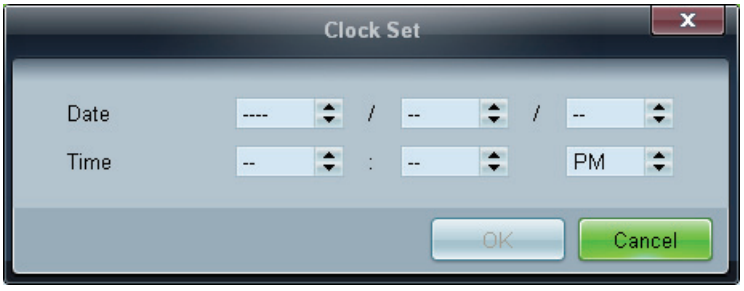
入力信号がない場合に、メッセージを表示するかどうかを選択します。

MDC OSD

MDC によって設定が変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

現在時刻

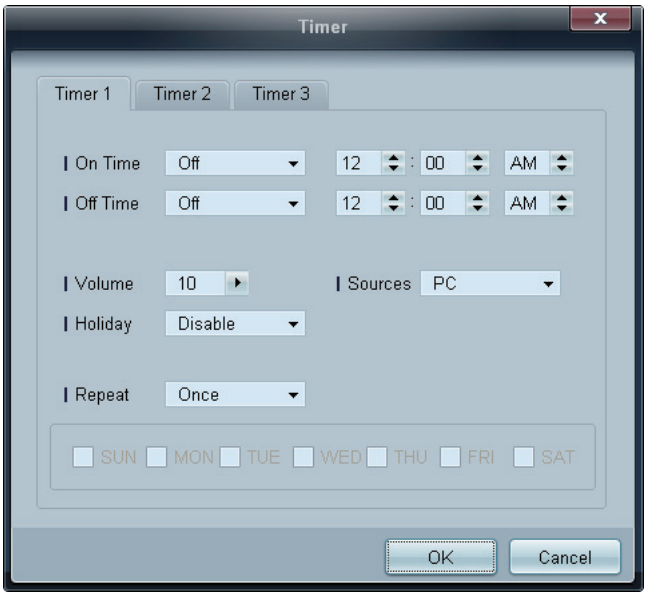
Clock Set



選択したディスプレイ装置の現在時刻を PC の設定時刻に合わせて変更します。

ディスプレイ装置に時刻が設定されていない場合は、ヌル値が表示されます。

Timer



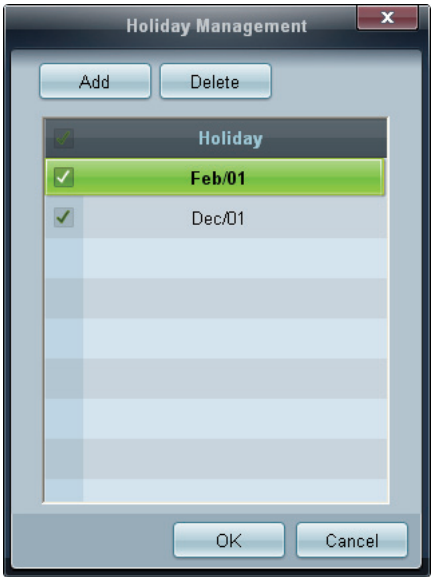
- **On Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオンにする時刻を設定します。
- **Off Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオフにする時刻を設定します。
- **Volume** : **On Time**によりディスプレイ装置の電源がオンになったときの音量を指定します。
- **Source** : **On Time**によってディスプレイ装置の電源をオンにしたときの入力ソースを指定します。
- **Holiday** : **Holiday Management**設定を**Timer**に適用できます。
- **Repeat** : 選択した**Timer**を繰り返す周期を指定します。
  - **Once** : タイマーを 1 回だけ有効にします。
  - **EveryDay** : タイマーを毎日有効にします。
  - **Mon~Fri** : タイマーを月～金曜日に有効にします。
  - **Mon~Sat** : タイマーを月～土曜日に有効にします。
  - **Sat~Sun** : タイマーを土曜日と日曜日に有効にします。
  - **Manual** : 曜日をカスタマイズします。

Repeatの下にある曜日を選択するためのチェックボックスは、Manualが選択されている場合にのみ有効となります。

Holiday Management

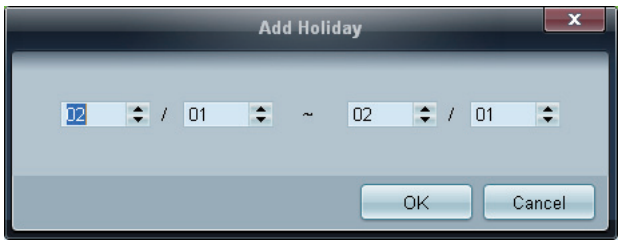
Holiday Managementにより、Timerで電源がオンになるように設定したデバイスが特定の日付にオンにならないようにできます。

Holiday Management機能は、Timer設定メニューで有効または無効にできます。



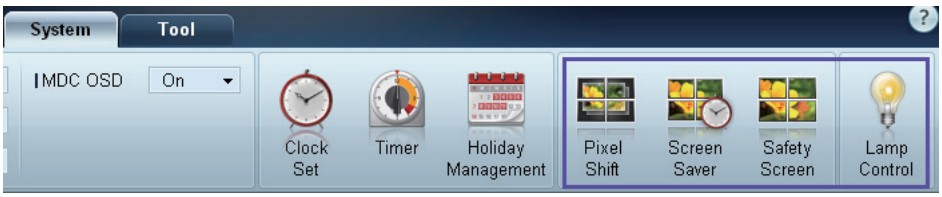
- Add : 祝日を指定できます:

  Holiday Managementウィンドウで Addボタンをクリックします。

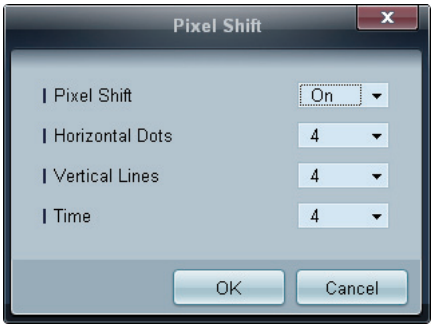


- Delete : 祝日を削除します。対応するチェックボックスにチェックマークを入れて、このボタンをクリックします。
- 祝日のリスト:これまでに追加した祝日のリストを表示します。

画面の焼き付き防止

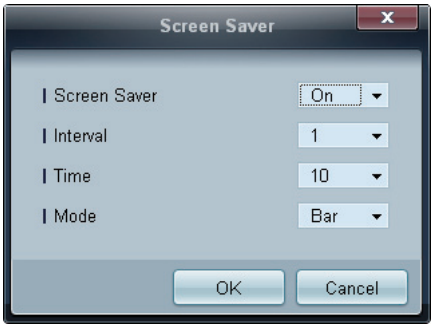


Pixel Shift



画面の残像防止のため指定時刻にわずかに画面を動かします。

Screen Saver



この機能は選択されたディスプレイ装置の画面が長時間使われずに放置された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

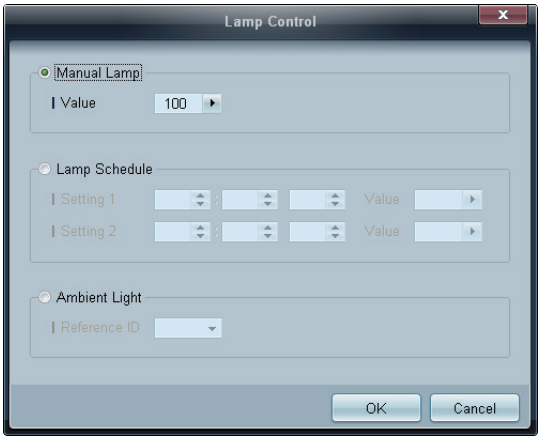
- **Interval** : **Screen Saver**を起動する間隔を指定します。
- **Mode**: **Time**設定は**Mode**ごとに変えられます。

Safety Screen

Safety Screen機能はディスプレイ装置の画面に静止画像が長時間表示された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

Lamp Control

Lamp Controlは、バックライトを調整して消費電力を抑えるのに使用されます。



選択したディスプレイ装置のバックライトを指定した時刻に自動的に調整します。

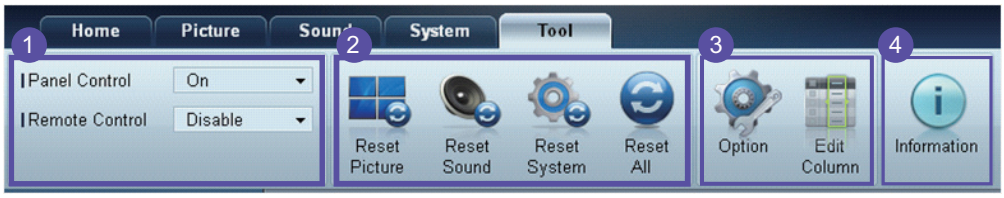
Manual Lamp Controlが調整されると、**Auto Lamp Control**は自動的に**Off**に切り替わります。

選択したディスプレイのバックライトを手動で調整します。

Auto Lamp Controlが調整されると、**Manual Lamp Control**は自動的に**Off**に切り替わります。

- **Ambient Light** : **Ambient Light**は周囲の光の強さを検出して、同一のシリアル チェーンに接続されたすべての LFD について画面の明るさを自動的に調整します。

3.3.12 ツールの設定



1 セキュリティ

Panel Control

ディスプレイ装置の画面をオンまたはオフにします。

Remote Control

リモート コントロールを有効または無効にします。

2 リセット

Reset Picture

画面設定をリセットします。

Reset Sound

サウンド設定をリセットします。

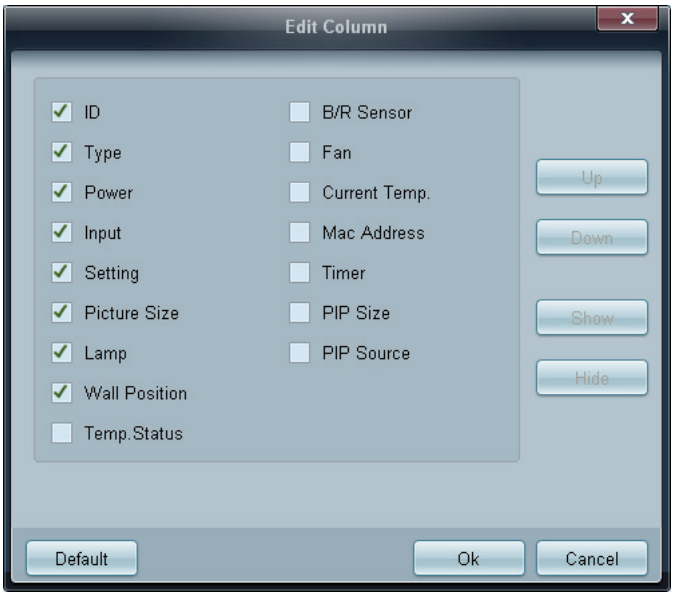
Reset System

システム設定をリセットします。

Reset All

画面、サウンド、およびシステム設定を同時にリセットします。

3 Edit Column



セットのリストに表示する項目を選択します。

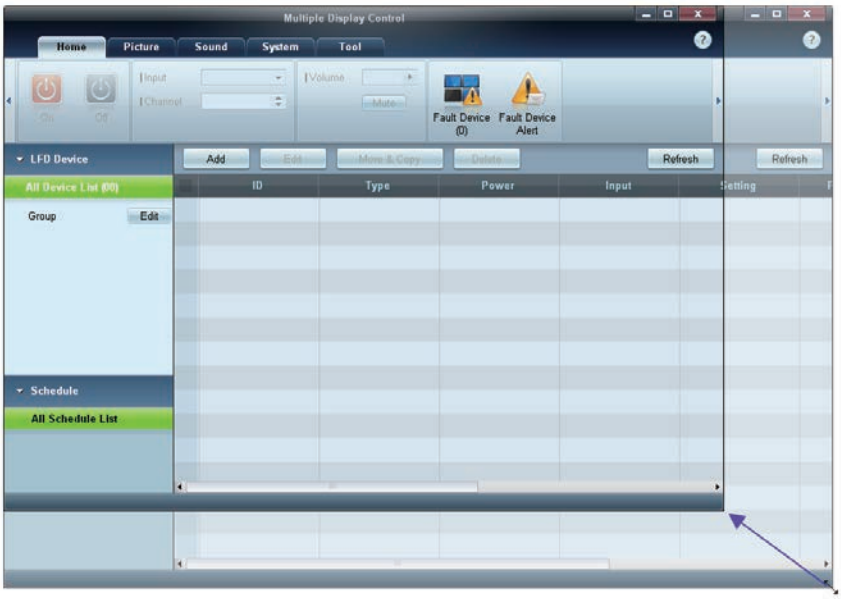
4 Information

プログラム情報を表示します。

3.3.13 その他の機能

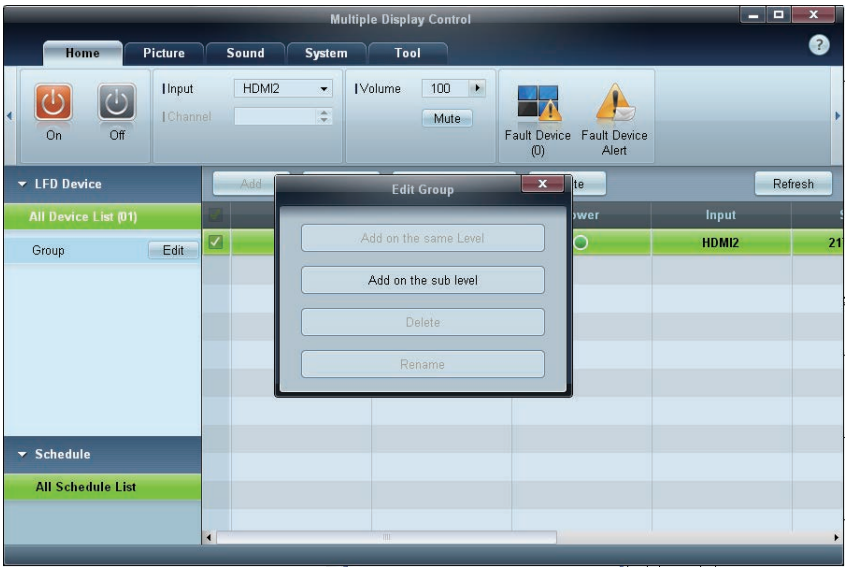
ウィンドウのリサイズ

プログラム ウィンドウの角にマウスのポインターを置きます。矢印が表示されます。矢印を動かしてプログラム ウィンドウのサイズをカスタマイズします。



グループの管理

グループの作成



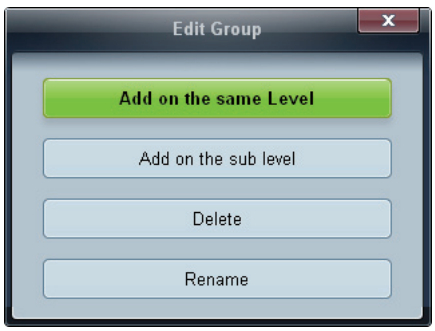
グループを作成してセットのリストをグループ単位で管理します。

重複するグループ名は使用できません。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるディスプレイ装置リストのセクションを右クリックして **Group>Edit**を選択します。

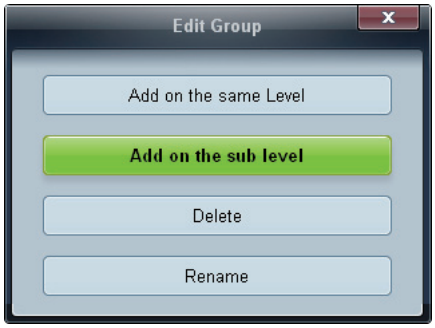
2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Add on the sub level**または**Add on the same level**をクリックします。

- **Add on the same level**: 選択したグループと同じレベルにグループを作成します。



Add on the same levelボタンは、少なくとも 1 つのグループが作成されている場合に有効となります。

- **Add on the sub level**: 選択したグループの下にサブグループを作成します。

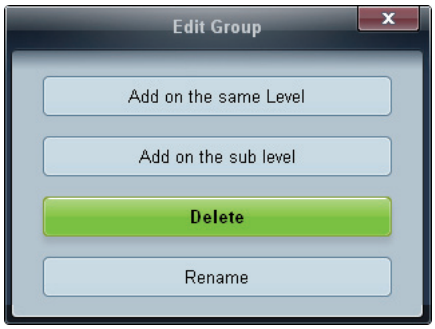


3 グループ名を入力します。

グループの削除

1 グループ名を選択して、**Edit**をクリックします。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Delete**をクリックします。

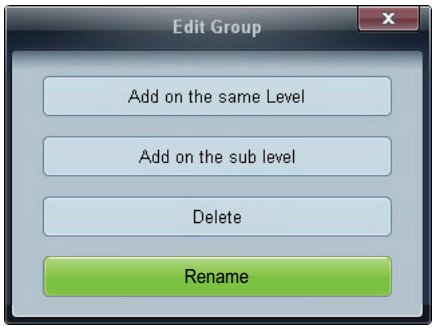


3 **Yes**をクリックします。グループが削除されます。

グループのリネーム

1 グループ名を選択して、**Edit**をクリックします。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Rename**をクリックします。



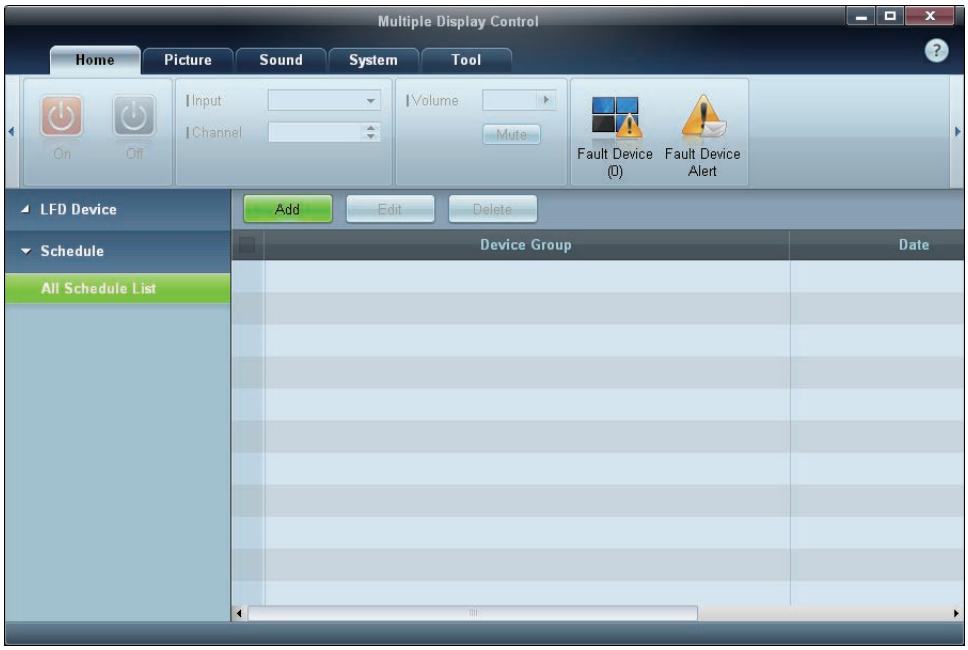
3 古いグループ名の中にカーソルが現れるので、新しいグループ名を入力します。

スケジュールの管理

スケジュールの作成

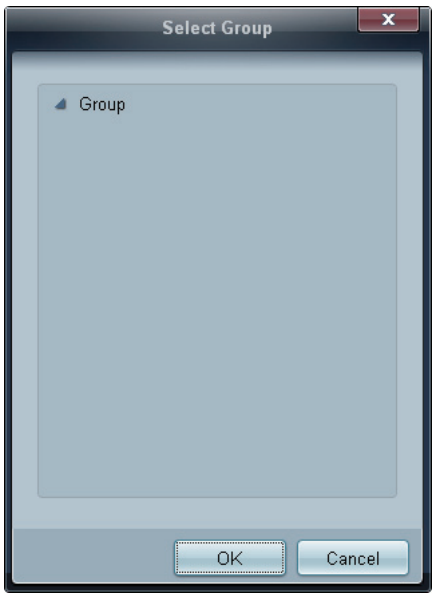
グループ単位でスケジュールを作成して登録します。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるスケジュールのセクションのAll Schedule Listをクリックします。中央のAddボタンが有効になります。



2 Addボタンをクリックします。Add Scheduleウィンドウが表示されます。

3 Device Group項目の下にあるAddをクリックして、スケジュールを追加するグループを選択します。



4 Date&Time/Actionを選択してOKをクリックします。スケジュールが追加され、セット リスト ウィンドウにスケジュールのリストが表示されます。

- Device Group : グループを選択します。
- Date&Time
  - Instant Execution : 直ちにスケジュールを実行します。
  - Timer :スケジュールを実行する日付、時刻、および間隔を設定します。
- Action : 指定の時刻および間隔で起動する機能を選択します。

スケジュールの変更

スケジュールを変更するには、スケジュールを選択してEditをクリックします。

スケジュールの削除

スケジュールを削除するには、スケジュールを選択してDeleteをクリックします。

3.3.14 トラブルシューティング ガイド

問題		解決方法
制御したいディスプレイがシステム情報チャートに表示されません。	1.	RS232C ケーブルの接続を確認します (ケーブルが適切なシリアル ポートに正しく接続されていることを確認します)。
	2.	ID が重複する別のディスプレイが接続されていないことを確認します。ID の重複したディスプレイを接続すると、データの衝突によってディスプレイが表示されない原因となることがあります。
	3.	ディスプレイの ID が 0～99 の範囲にあることを確認します (ディスプレイのメニューで ID を変更します)。 0～99 の範囲の ID をサポートするディスプレイでは、ID は 0～99 の範囲で設定しなければなりません。
制御したいディスプレイが他の制御情報グリッドに表示されない。	ディスプレイの電源がオンになっていることを確認してください。(システム情報チャートの電源ステータスを見ます)	
	ディスプレイに接続された入力信号を選択してください。	
以下のメッセージが繰り返し表示されます。 	制御しようとするディスプレイが接続されていることを確認してください。	
On TimeまたはOff Timeが設定されているのに、別の時刻にディスプレイが交互にオンまたはオフになります。	PC の時刻を調整して、接続されたディスプレイとの間で同期してください。	
リモコンが機能しない。	リモコンは、RS-232C ケーブルが外されている場合、またはRemote Control機能がDisableのときにプログラムが正常に閉じられなかった場合に機能しなくなることがあります。これを解決するには、プログラムを再度実行してRemote ControlをEnableに設定します。	

このプログラムは、PC とディスプレイとの通信の問題、または付近にある電子機器から放出される電磁波によって誤作動する場合があります。

複数のディスプレイを使用しているときにディスプレイのプロパティを表示する方法

1. ディスプレイが選択されていないとき:デフォルト値が表示されます。
2. 1 台のディスプレイが選択されているとき:選択したディスプレイの設定が表示されます。
3. 2 台のディスプレイが (たとえばID 1、ID 3 の順で) 選択されたとき:ID 1 の設定が表示され、続いてID 3 の設定が表示されます。
4. All+Selectチェックボックスがチェックされてすべてのディスプレイが選択されたとき:デフォルトの設定が表示されます。

4 画面調整

4.1 外部入力

MENU → 入力 → 外部入力 → ENTER

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

- DVI
- HDMI
- ディスプレイ ポート
- MagicInfo – ネットワーク ボックスが接続されているときに有効になります。

リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

変換したい入力信号デバイスに誤った入力信号を選択すると、画面に正しく表示されない場合があります。

4.2 外部入力名編集

MENU → 入力 → 外部入力名編集 → ENTER

接続している入力信号デバイスの名前を変更することができます。

- 入力信号デバイスの名前を **外部入力名編集** で指定しておかないと、画面に正しく表示されないことがあります。最適な画質を得るため、**外部入力名編集** で入力信号デバイスの名前を変更しておくことをお勧めします。

  リストには、次の入力信号デバイスが含まれます。一覧に表示される入力信号デバイスは、選択した入力信号によって異なります。

  - **VTR** / **DVD** / **ケーブルSTB** / **デジタルSTB** / **衛星放送チューナー** / **AVレシーバー** / **DVD プレーヤー** / **ゲーム** / **DVC** / **DVD コンボ** / **DVD+HDD** / **PC** / **DVI PC** / **DVI 装置**

[**映像**] メニュー内の利用可能な設定は、**外部入力名編集** で設定した現在の入力信号および設定内容によって異なります。

- HDMI ケーブルを使って PC を [HDMI IN (MAGICINFO)] ポートに接続するときは、**外部入力名編集**で **PC** モードに設定します。
- HDMI-DVI 変換ケーブルを使って PC を [HDMI IN (MAGICINFO)] ポートに接続するときは、**外部入力名編集**で **DVI PC** モードに設定します。
- HDMI-DVI 変換ケーブルを使って AV 装置を [HDMI IN (MAGICINFO)] ポートに接続するときは、**外部入力名編集**で **DVI 装置**モードに設定します。

4.3 入力信号自動切換設定

MENU → 入力 → 入力信号自動切換設定 → ENTER

接続している入力信号デバイスの名前を変更することができます。

- **入力信号自動切換** が **オン** の状態でディスプレイをオンにしたとき、前に選択していたビデオ入力信号がない場合には、ディスプレイは自動的に別のアクティブなビデオ入力信号を探します。
- **入力信号自動切換**

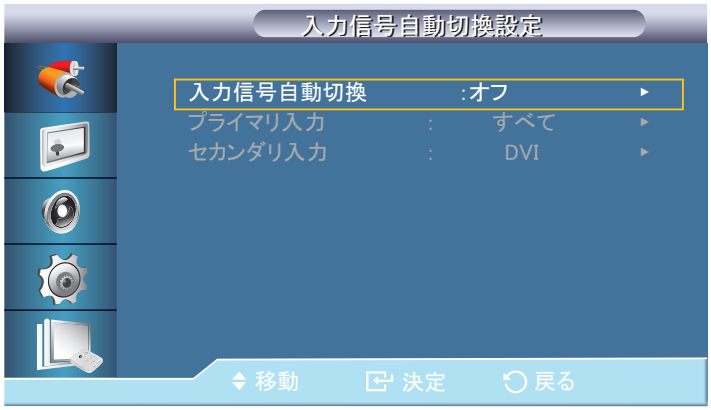
  入力信号自動切換 が **オン** のときには、ディスプレイのビデオ信号が自動的にアクティブなビデオを検索します。

  現在の入力信号が認識できない場合には、**プライマリ入力** 選択が有効になります。

  セカンダリ入力 選択は、使用できるプライマリのビデオ信号がない場合に有効になります。

  プライマリおよびセカンダリ入力ソースが両方とも認識されない場合は、有効なソースの検索が 2 回実行されます。いずれの検索でも、最初にプライマリ ソース、次にセカンダリ ソースが確認されます。両方の検索に失敗した場合は、ディスプレイが最初のビデオ ソースに戻り、信号がないことを示すメッセージが表示されます。

  プライマリ入力 選択が **すべて** に設定されているときは、ディスプレイはすべてのビデオ入力信号を 2 回連続して検索してアクティブなビデオ信号を探し、ビデオが見つからない場合には最初のビデオ信号に戻ります。



▲/▼ を押して希望のオプションを選択し、[↵] を押します。

- **プライマリ入力**

  自動入力信号に **プライマリ入力** を指定します。
- **セカンダリ入力**

  自動入力信号に **セカンダリ入力** を指定します。

5 画面調整

[映像] (明るさ、色温度など) を設定します。

[映像] メニュー オプションのレイアウトは、製品によって異なる場合があります。

5.1 モード

MENU → 映像 → モード → ENTER

製品が使用される環境に適切な映像モード (モード) を選択します。現在の入力信号によって、異なる モード オプションが表示されます。

5.1.1 入力信号が [DVI] または [DP] の場合

- 情報:このモードは疲れ目を軽減するため、一般の人々に情報を表示するのに適しています。
- 広告:このモードは、ビデオ コンテンツや屋内/屋外広告の表示に適しています。
- ユーザー調整:必要に応じて画面設定をカスタマイズします。

5.1.2 入力ソースが HDMI の場合

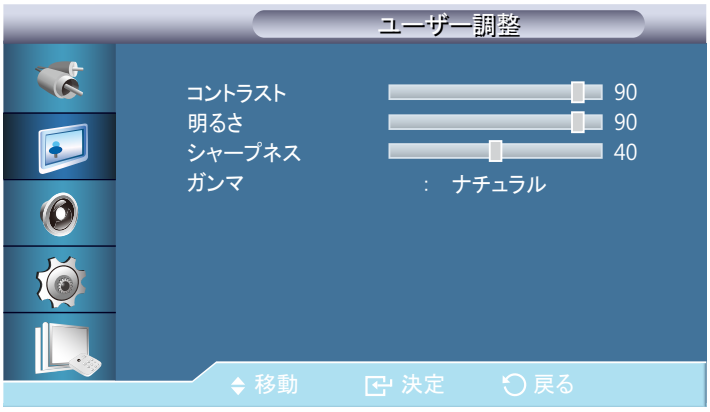
- ダイナミック:このモードは、周囲の光が明るいときに適しています。
- 標準: このモードは全般的に、どの環境にも適しています。
- 映画:このモードでは疲れ目が軽減されます。
- ユーザー調整:必要に応じて画面設定をカスタマイズします。

5.2 ユーザー調整

MENU → 映像 → ユーザー調整 → ENTER

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

ダイナミックコントラスト が オン に設定されているときには使用できません。



5.2.1 コントラスト

コントラストを調整します。

5.2.2 明るさ

輝度を調整します。

5.2.3 シャープネス

シャープネスを調整します。

5.2.4 ガンマ

映像の中間域の明るさ（ガンマ）を調整します。

- ナチュラル
- モード 1:映像を ナチュラル よりも明るく設定します。
- モード 2:映像を モード 1 よりも暗く設定します。
- モード 3:明るい色と暗い色の間のコントラストを強くします。

DVI および ディスプレイ ポート モードでのみ使用できます。

5.2.5 色の濃さ

画像の色を調整します。

HDMI モードでのみ使用できます。

5.2.6 色あい

ナチュラルトーンを表示に追加します。

HDMI モードでのみ使用できます。

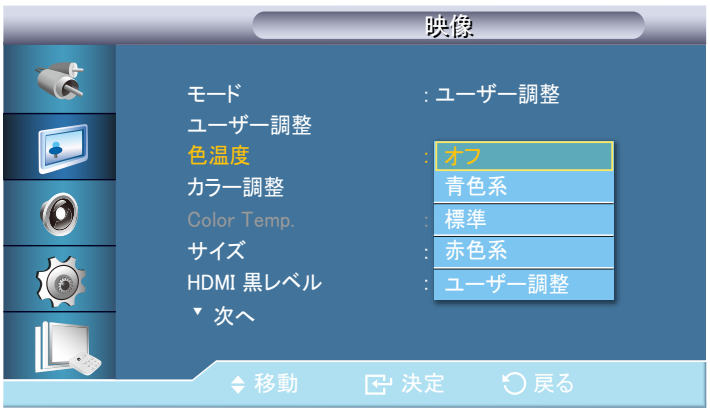
5.3 色温度

MENU → 映像 → 色温度 → ENTER

色温度を変更できます。個々の色成分もユーザーが調整することができます。

ダイナミックコントラスト が オン に設定されているときには使用できません。

5.3.1 入力信号が DVI または ディスプレイ ポート の場合



- 色温度 を 青色系、標準、赤色系 または ユーザー調整 に設定すると、Color Temp. 機能が無効になります。
- 色温度 が オフ に設定されている場合には、カラー調整 機能は無効になります。

5.3.2 入力ソースが HDMI の場合

色温度 を 青色系2、青色系1、標準、赤色系1、または 赤色系2 に設定すると、Color Temp. 機能が無効になります。

5.4 カラー調整

MENU → 映像 → カラー調整 → ENTER

赤、緑、青のそれぞれの色バランスを調整します。

ダイナミックコントラスト が オン に設定されているときには使用できません。

5.5 Color Temp.

MENU → 映像 → Color Temp. → ENTER

色温度（赤 / 緑 / 青）を調整します。（範囲:3,000K~15000K）

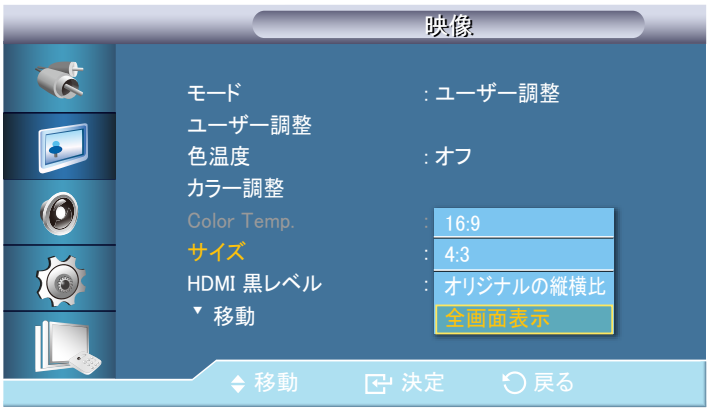
ダイナミックコントラスト が オン に設定されているときには使用できません。

5.6 サイズ

MENU → 映像 → サイズ → ENTER

サイズ は切り替えられます。

5.6.1 入力信号が DVI または ディスプレイ ポート の場合

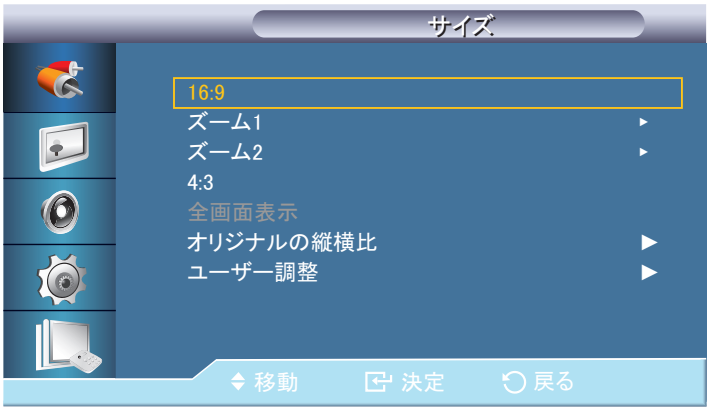


- 16:9: 16:9 ワイドモードに画像を設定します。
- 4:3: 基本 (4:3) モードに画像を設定します。

  長期にわたる 4:3 フォーマットのご使用はお避けください。画面の左右または上下に表示される境界線によって、残像 (画面の焼き付き) が起こる場合があり、これは保証外となります。
- オリジナルの縦横比: 映像をオリジナルのアスペクト比で表示します。

  モデルによって使用可能なポートが異なる場合があります。(20 ページ)
- 全画面表示: 映像をオリジナルのアスペクト比で表示します。

5.6.2 入力ソースが HDMI の場合



- **16:9**: 16:9 ワイドモードに画像を設定します。
- **ズーム1**:低倍率で拡大するために使用します。上側と横側を切り取ります。
- **ズーム2**:高倍率で拡大するために使用します。
- **4:3**: 基本 (4:3) モードに画像を設定します。

  長期にわたる 4:3 フォーマットのご使用はお避けください。画面の左右または上下に表示される境界線によって、残像 (画面の焼き付き) が起こる場合があり、これは保証外となります。
- **全画面表示**:映像をオリジナルのアスペクト比で表示します。
- **オリジナルの縦横比**:映像をオリジナルのアスペクト比で表示します。

  モデルによって使用可能なポートが異なる場合があります。(20 ページ)
- **ユーザー調整**:ユーザーの好みに合わせて解像度を変更します。

  本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。

5.6.3 入力ソースごとに設定可能な画像サイズが異なります。

入力ソース	画像サイズ
HDMI (720p, 1080i, 1080p)	**16:9**, **4:3**, **全画面表示**, **オリジナルの縦横比**, **ユーザー調整**
HDMI (480i, 480p)	**16:9**, **4:3**, **全画面表示**, **ズーム1**, **ズーム2**, **オリジナルの縦横比**, **ユーザー調整**
DVI, DP, HDMI (PC が接続されている場合)	**16:9**, **4:3**, **全画面表示**, **オリジナルの縦横比**

5 画面調整

5.7 デジタルNR

MENU → 映像 → デジタルNR → ENTER

デジタル ノイズ リダクション機能の **オフ**/**オン** を切り替えます。デジタル ノイズ リダクション機能によって、よりきれいではっきりした画像をお楽しみいただけます。

- **オフ** / **オン**

HDMI モードでのみ使用できます。

5.8 ＨＤＭＩ　黒レベル

MENU → 映像 → HDMI 黒レベル → ENTER

諧調レベルを選択して画面の奥行きを調整します。

- **標準** / **低**

5.9 フィルムモード

MENU → 映像 → フィルムモード → ENTER

自動的にすべてのソースからの映像信号を検知して処理し、最適な画質に調整するように本製品を設定します。

- **オフ** / **オン**

HDMI モードでのみ使用できます。

5.10 ダイナミックコントラスト

MENU → 映像 → ダイナミックコントラスト → ENTER

画面のコントラストを調整します。

- **オフ** / **オン**

5 画面調整

5.11 ライト調整

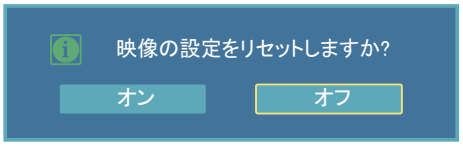
MENU → 映像 → ライト調整 → ENTER

エネルギー消費を抑えるため、インバーター ランプを調整します。

5.12 映像リセット

MENU → 映像 → 映像リセット → ENTER

現在の映像モードをデフォルトの設定に戻します。



6 音声調整

製品の音声 ([音声]) を設定します。

6.1 モード

MENU → 音声 → モード → ENTER

上下の矢印キーを使用してオプションを選択し、[ ] を押してください。

- **標準**:標準サウンド モードを選択します。
- **音楽**:音声よりも音楽が強調されます。
- **映画**:動画に最適な音声を使用します。
- **ニュース**: ほとんどが会話の番組 (ニュースなど) を視聴するときには、**ニュース** を選択します。
- **ユーザー調整**:好みに合わせて設定を調整するには、**ユーザー調整** を選択します。

6 音声調整

6.2 ユーザー調整

MENU → 音声 → ユーザー調整 → ENTER

好みに合わせて音声設定を調整することができます。

- 調整の際は、音量が 0 に設定されていても音声が鳴ります。
- ユーザー調整 機能を使用して音声の調整を行うと、ユーザー調整 が モード モードになります。

6.2.1 低音

周波数の低い音声を強調します。

6.2.2 高音

周波数の低い音声を強調します。

6.2.3 バランス

左右のスピーカーの音声バランスを調整できます。

6 音声調整

6.3 自動音量

MENU → 音声 → 自動音量 → ENTER

放送局による音量レベルの差を小さくします。

- オフ / オン

6.4 SRS TS XT

MENU → 音声 → SRS TS XT → ENTER

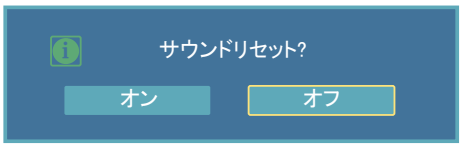
SRS TS XT は、2 台のスピーカーで 5.1 チャンネルのコンテンツを再生するときの問題を解決する特許取得済みの SRS 技術です。TruSurround XT は、テレビの内蔵スピーカーなどのスピーカー 2 台で構成される再生システムで、素晴らしい仮想サラウンド音声環境を実現します。すべてのマルチチャンネル フォーマットと完全な互換性があります。

- オフ / オン

6.5 サウンド リセット

MENU → 音声 → サウンド リセット → ENTER

すべての音声設定を工場出荷時の設定に戻します。サウンド リセット を選択して ENTER[] を押し、ポップアップ画面で はい を選択して ENTER[] をもう一度押します。



7 設定

7.1 言語

MENU → 設定 → 言語 → ENTER

メニューの言語を設定します。

言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

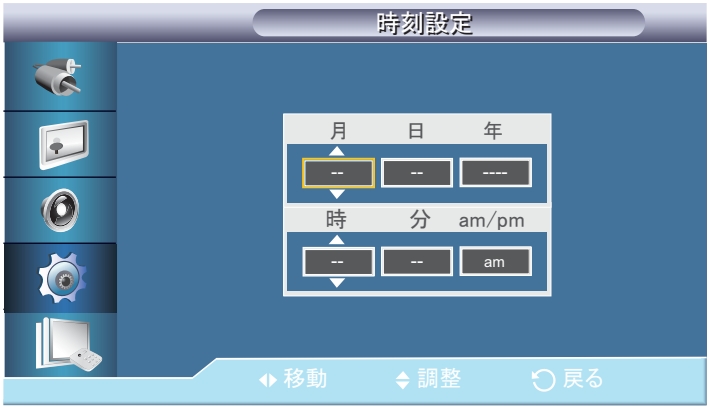
7.2 時刻

MENU → 設定 → 時刻 → ENTER

現在時刻設定 または **スリープ タイマー** を設定することができます。**タイマー** 機能を使用すると、指定された時刻に製品を自動的にオンまたはオフにするように設定することができます。

7.2.1 現在時刻設定

製品の様々なタイマー機能で使用されるクロックを設定します。



現在時刻設定

日付と**時間**を設定します。

現在時刻設定を選択します。**日付**または**現在時刻**を選択して、次に[↵]を押します。数字ボタンを使って数字を入力するか、または上下の矢印ボタンを押してください。左右の矢印キーを押すと、次の入力フィールドに移動します。完了したら、[↵]を押してください。**時刻設定**を終了するには、クロックを選択して、次に[↵]を押します。

日付と**現在時刻**はリモコンの数字ボタンを使って直接設定できます。

7.2.2 スリープ タイマー

前もってセットした時間を過ぎると自動的に製品をオフにします。(**30** 分 / **60** 分 / **90** 分 / **120** 分 / **150** 分 /**180** 分 / **オフ**).

上下矢印キーで時間を選択し、次に[↵]を押します。**スリープ タイマー**をキャンセルするには、**オフ**を選択します。

7.2.3 タイマー 1 / タイマー 2 / タイマー 3

LCD ディスプレイを指定した時間にオンまたはオフにするよう設定できます。

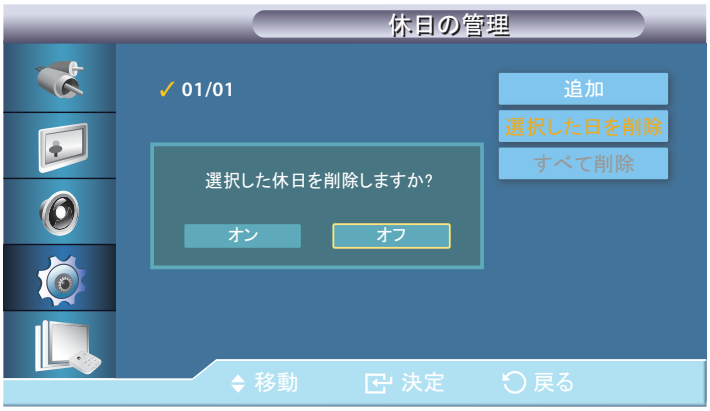
- **オン時刻**
- **オフ時刻**
- **音量**:音量レベルを設定します。左右の矢印ボタンで音量レベルを変更します。
- **外部入力** :入力元を選択します。
- Hoilday :休日にはタイマーを無効にするには **適用** を、休日にもタイマーを有効にするには **適用しない** を選択します。
- **リピート** :**1 回**、**毎日**、**月～金**、**月～土**、**土～日** または **手動** のいずれかを選択することができます。
  - **1 回** :**タイマー** を 1 回だけ無効にします。
  - **毎日** :**タイマー** を毎日有効にします。
  - **月～金** :**タイマー** を月～金曜日に有効にします。
  - **月～土** :**タイマー** を月～土曜日に有効にします。
  - **土～日** :土曜日と日曜日は **タイマー** を無効にします。
  - **手動**:Timer を無効にする曜日を選択します。

- **時刻設定** メニューを使用して時刻を設定した場合にのみ有効です。
- **手動** オプションを使用して、曜日を選択できます。

7.2.4 休日の管理

休日として指定されている期間、**タイマー** は無効になります。

休日の管理 の設定



- **追加**:休日として追加したい期間を指定します。
- **選択した日を削除**:選択した休日を削除できます。

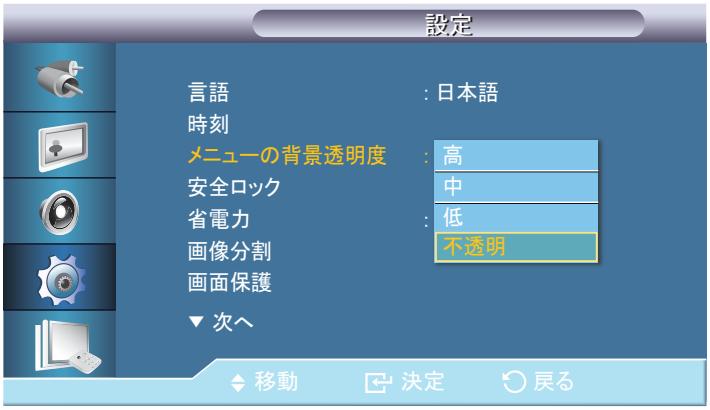
  - 登録された休日が選択されている場合にのみ有効です。
  - 複数の休日を選択して削除できます。

- **すべて削除**: 登録された休日をすべて削除できます。

7.3 メニューの背景透明度

MENU → **設定** → **メニューの背景透明度** → ENTER

OSD の背景の透明度を変更します。



7.4 安全ロック

MENU → 設定 → 安全ロック → ENTER

7.4.1 PIN の変更

パスワードは変更できます。

プリセットされている LCD ディスプレイのパスワードは「0000」です。

パスワードを忘れた場合には、リモコンのボタン INFO → EXIT → MUTE を押すとパスワードが「0000」にリセットされます。

7.4.2 Lock

これは、OSD をロックして設定状態を維持し、他のユーザーが現在の設定を変更できないようにする機能です。

ロック使用 を選択すると、ロック解除 が有効になります。ロック 機能を無効にするには、ロック解除 用のパスワードを入力します。

7.5 省電力

MENU → 設定 → 省電力 → ENTER

この機能は、省エネのためにユニットの電力消費の調整を行います。

- オフ / オン

7.6 画像分割

MENU → 設定 → 画像分割 → ENTER

画像分割のために接続された複数のディスプレイのレイアウトをカスタマイズします。さらに、全体の映像の一部を表示するか、または接続された複数のディスプレイそれぞれに同じ映像をリピートします。複数の画像を表示するには、MDC ヘルプまたは MagicInfo ユーザー ガイドを参照してください。モデルによっては、MagicInfo 機能をサポートしないものがあります。

水平方向および垂直方向に 5 台以上のディスプレイが接続されている場合には、コントラストや色強度の劣化によって映像が暗くならないよう XGA (1024 x 768) レベル以上の入力を使用することが推奨されます。

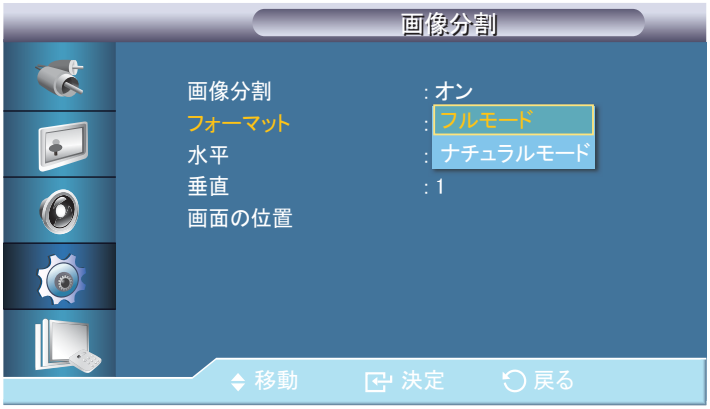
7.6.1 画像分割

画像分割 を有効または無効にすることができます。

画像分割を行う場合、**オン** を選択します。

7.6.2 フォーマット

複数のディスプレイに画像を表示するフォーマットを選択します。

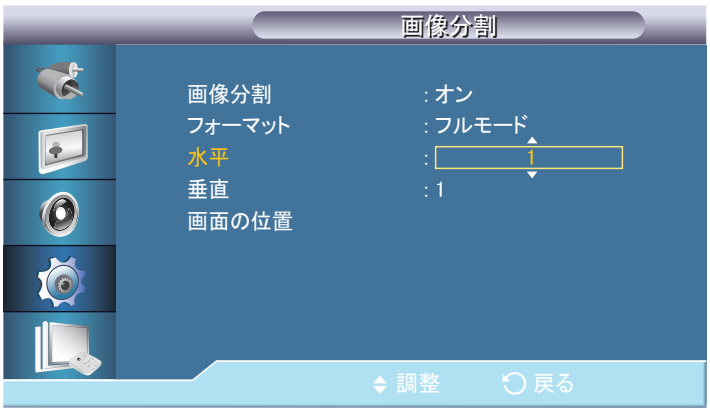


- **フルモード**:全画面で画像を表示します。
- **ナチュラルモード** :拡大や縮小なしで、画像をオリジナルの解像度で表示します。

画面の位置オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。

7.6.3 水平

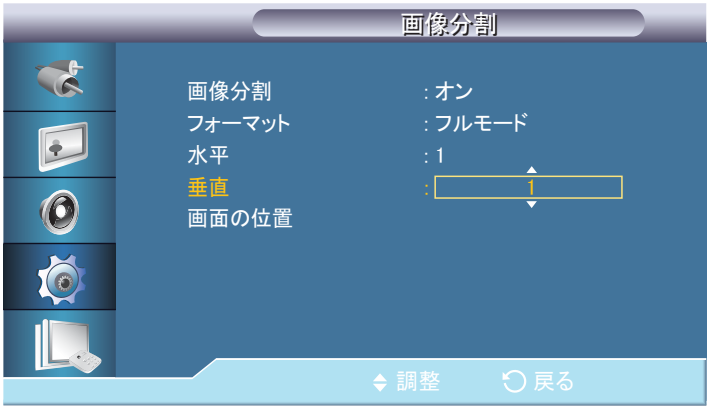
この機能は、指定された水平方向のディスプレイの数に応じて、画面を自動的に分割します。水平方向に配置されたディスプレイ数を入力します。水平方向の画面は、入力された数字に従って自動的に分割されます。水平配置では最大 15 台のディスプレイを割り当てることができます。



- 画面は最大、(水平と垂直を掛けあわせて) 100 個にまで分割できます。たとえば、水平配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを垂直配置に割り当てることができます。逆に、垂直配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを水平配置に割り当てることができます。
- **画面の位置**オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。

7.6.4 垂直

この機能は、指定された垂直方向のディスプレイの数に応じて、スクリーンを自動的に分割します。垂直方向に配置されたディスプレイ数を入力します。垂直方向の画面は、入力された数字に従って自動的に分割されます。垂直配置では最大 15 台のディスプレイを割り当てることができます。



- 画面は最大、(水平と垂直を掛けあわせて) 100 個にまで分割できます。たとえば、水平配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを垂直配置に割り当てることができます。逆に、垂直配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを水平配置に割り当てることができます。
- **画面の位置**オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。

7.6.5 画面の位置

画面の位置 機能を使用すると、番号で特定されるディスプレイを移動することで、画面分割の配置をカスタマイズすることができます。

画面の位置を選択すると、水平または垂直で指定されているディスプレイ (番号とともに) の配置が表示されます。配置をカスタマイズするには、リモコンの方向キーで番号 (ディスプレイ) を移動し、[↵] を押します。

- **画面の位置** では最大 100 台のディスプレイを割り当てることができます。
- **画面の位置**オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。
- **画面の位置**ウィンドウは、**水平**および**垂直**が設定されているときのみ表示されます。

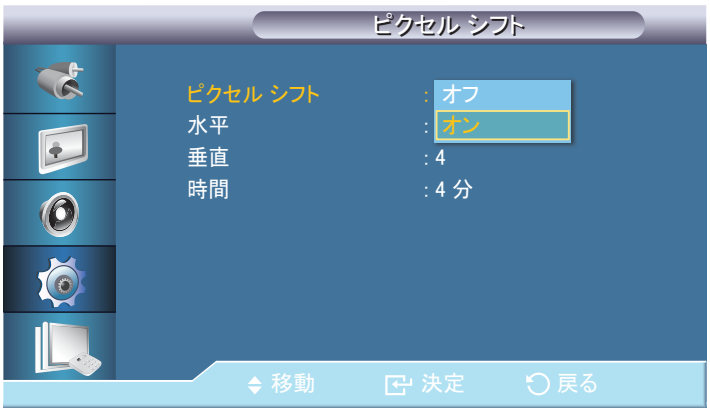
7.7 画面保護

MENU → 設定 →画面保護→ ENTER

画面保護 機能は、静止画が画面上に長時間表示されたときに発生することのある残像を防止するのに使用します。

この機能は、電源がオフになっているときには使用できません。

7.7.1 ピクセル シフト



ピクセル シフト

画面の残像を防止するため、この機能を使って LCD 状のピクセルを水平または垂直方向に動かすことができます。

- **オフ / オン**

水平

画面を水平方向に何ピクセル移動させるかを設定します。

画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

垂直

画面を垂直方向に何ピクセル移動させるかを設定します。

画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

現在時刻

水平または垂直移動を実行する間隔をそれぞれ設定します。

7.7.2 タイマー

画面焼き付き防止のタイマーを設定することができます。

タイマー

ユーザーが残像をすべて消去する動作を指示すると、設定された時間だけ動作が実施され、その後、自動的に終了します。

- **オフ** / **オン**

モード

画面保護タイプを変更できます。

- **バー** / **消しｺﾞﾑ** / **ピクセル**

周期

この機能を使ってタイマーにセットした各モードの実行周期を設定します。

時間

設定した時間内における実行時刻を指定します。

- **モード** – **バー** , **消しｺﾞﾑ**, **ピクセル** :10~50 **秒**

7.7.3 バー

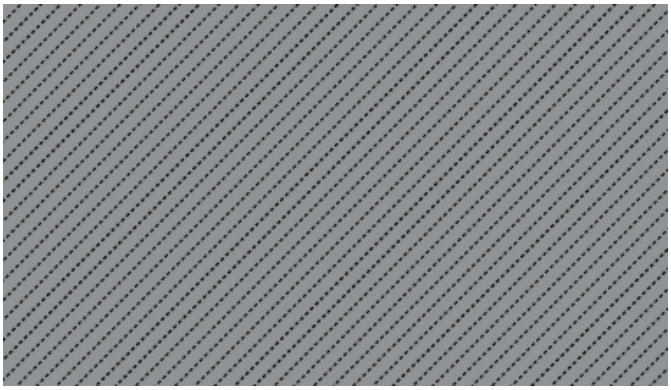
この機能を使用して、長い黒白の垂直線を動かすことにより、画面上に残像が発生するのを防止します。

7.7.4 消しｺﾞﾑ

この機能は、長方形のパターンを動かすことによって画面上に残像が発生するのを防止します。

7.7.5 ピクセル

この機能により、画面上の多くのピクセルが移動し、残像を防止します。



7.7.6 サイドグレー

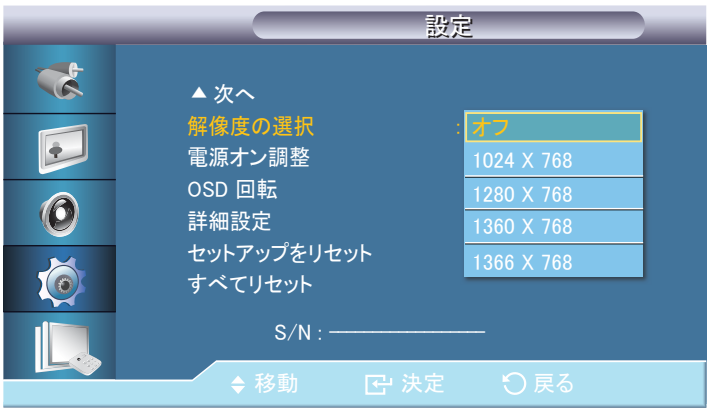
画面背景のグレーの明るさを選択します。

- **オフ / 明るくする / 暗くする**

7.8 解像度の選択

MENU → **設定** → **解像度の選択** → ENTER

コンピュータのグラフィックカードの解像度を1024 x 768 @ 60Hz、1280 x 768 @ 60Hz、1360 x 768 @ 60Hzまたは1366 x768 @ 60Hzに設定したときに画面が正常に表示されない場合は、この機能（Resolution Select）を使用して指定した解像度で画面を表示することができます。

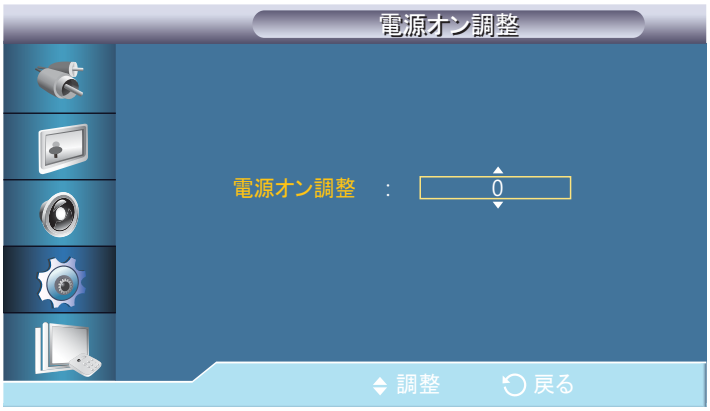


- メニューの選択は、画面解像度が1024 x 768 @ 60Hz、1280 x 768 @ 60Hz、1360 x 768 @ 60Hzまたは1366 x768 @ 60Hzに設定されているときにのみ可能です。

7.9 電源オン調整

MENU → 設定 → 電源オン調整 → ENTER

電源ボタンが押された後、画面をオンにするウォームアップ時間を設定することができます。(範囲 :0 – 50 秒)

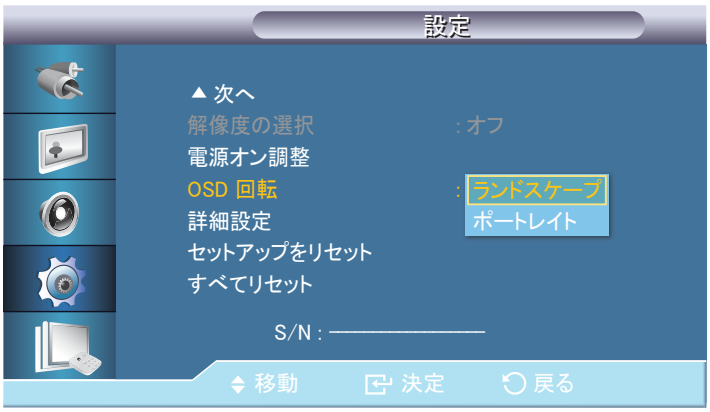


ウォームアップ時間が非常に短いと、過電圧のため製品が破損する場合があります。

7.10 OSD 回転

MENU → 設定 → OSD 回転 → ENTER

製品がポートレイトの向きになっている場合、メニュー ウィンドウを回転して、ポートレイト モードで表示することができます。



- ランドスケープ / ポートレイト

7.11 詳細設定

MENU → 設定 → 詳細設定 → ENTER

さらに詳細な設定を行います。

7.11.1 ファン & 温度

ファンの速度と内部の温度を検知して、製品を保護します。

ファン制御

ファン速度設定は、自動または手動のいずれかを選択します。

- 自動 / 手動

ファン速度の設定

ファンの速度を 0～100 の範囲で設定します。

ファン制御 が 手動 になっているときに使用できます。

温度制御

製品内部の温度を検知して、目的の温度を指定します。

製品はデフォルトでは 77°C に設定されています。

- 指定した温度を超えると映像が暗くなり、温度が上がり続ける場合には製品の電源が自動的にオフになって過熱を防止します。
- この製品を使用するには、75～80°C の温度が最適です (室温 40°C の場合)。
- 使用条件の詳細については、記載されている「仕様」を参照してください。
- **現在の温度**:製品の現在の温度を表示します。

7.11.2 自動電源設定

製品の **自動電源設定** の有効/無効を切り替えます。

- **オフ** / **オン**

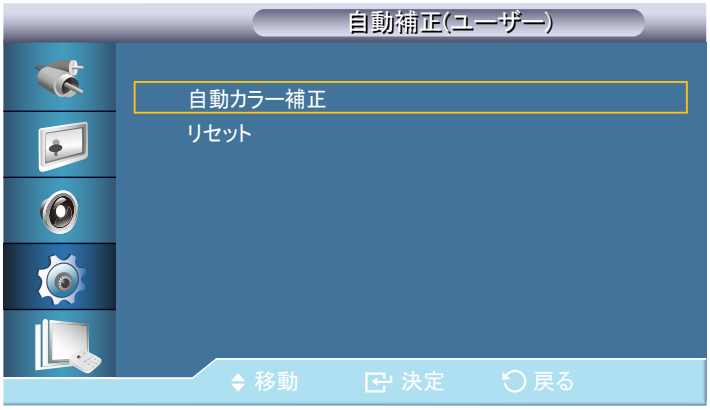
自動電源設定 が **オン** になっているときには、製品は電源に接続されると直ちにオンになります。

7.11.3 ボタン ロック

製品のモニター制御ボタンをロック/ロック解除します。

- **オフ** / **オン**

7.11.4 自動補正(ユーザー)



自動カラー補正

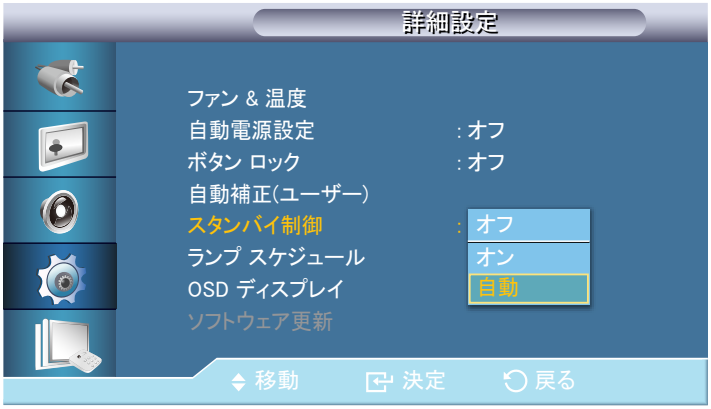
色を自動で調整します。

リセット

色の設定をリセットします。

7.11.5 スタンバイ制御

入力信号が検出されないときに動作するスタンバイ モードを設定します。



オフ

入力信号が検出されないときには **信号がありません** というメッセージが表示されます。

オン

入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。

自動

入力信号が検出されないときには、

- 外部デバイスが接続されているときには省電力モードになります。
- 外部デバイスが接続されていないときには **信号がありません** というメッセージが表示されます。

HDMI ソースの選択時は、この機能の **自動** 設定は機能しません。

7.11.6 ランプ スケジュール

指定された時刻に、ユーザー指定の値に明るさを調整します。

- **オフ / オン**

時刻設定 メニューを使用して時刻を設定した場合にのみ有効です。

7.11.7 OSD ディスプレイ

画面のメニュー項目を表示または非表示にします。

ソース OSD

- **オフ / オン**

非最適化 OSD モード

- **オフ / オン**

OSD 信号なし

- **オフ / オン**

[MDC OSD]

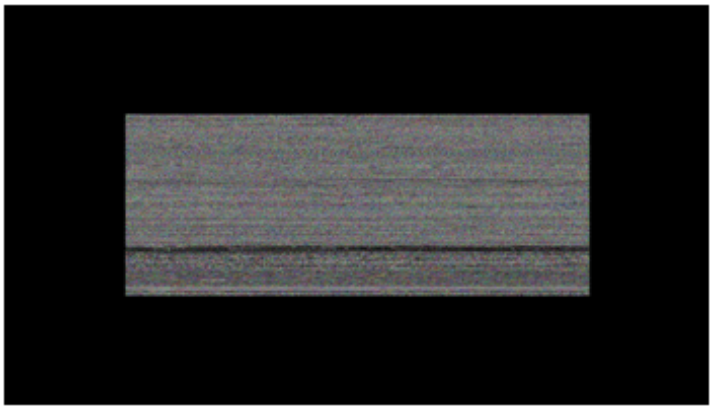
- **オフ / オン**

7.11.8 ソフトウェア更新

ソフトウェアの更新を行います。

1 DVI または HDMI などのデジタル信号を使用して製品をコンピュータに接続します。SW コードから変換された BMP 画像ファイルをクリックします。製品の画面に下に示すような画像が表示されます。

2 ソフトウェア コードが変換された BMP 画像が画面に表示されている間に、[ソフトウェア更新] を選択します。

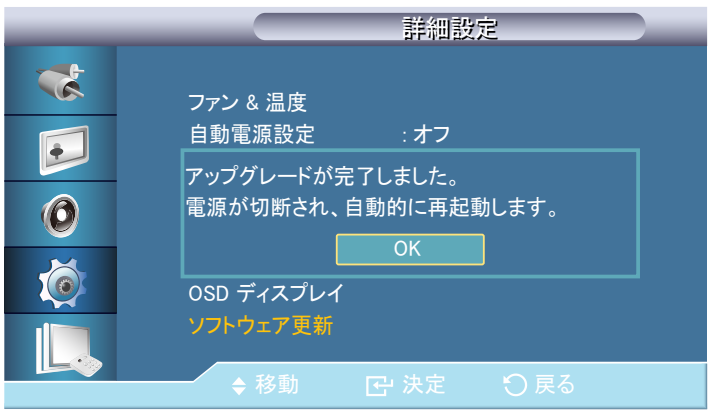


複数の BMP 画像がある場合は、スライドショーを使用して画面に表示されます。

- スライドショーでの BMP 画像の再生間隔を 1 秒に設定することをお勧めします。他の再生間隔では、画像を正常に抽出できないことがあります。
- 別の画像（マウス ポインタなど）が重なっている場合は、BMP 画像を正常に抽出できないことがあります。

3 現在のソフトウェア バージョンよりも新しいバージョンが検出された場合は、現在のソフトウェアをアップグレードするかどうか確認を求められます。はい を選択した場合は、アップグレードが実行されます。

4 ソフトウェア アップグレードの完了後、製品の電源が自動的にオフになってから、オンになります。



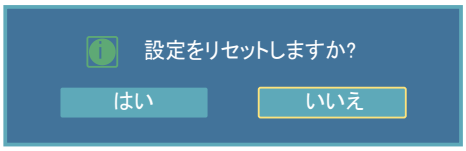
- これは、DVI、HDMI モードなどのデジタル信号の場合にのみ機能します。（入力解像度はパネル解像度と同じにする必要があります。）

- HDMI モードでは、**外部入力名編集** が **PC** または **DVI PC**に設定されている場合、PC と本製品の両方で使用されたタイミング値のみがサポートされます。
- これは、**サイズ** が **16:9** に設定されている場合にのみサポートされます。

7.12 設定をリセット

MENU → **設定** → **設定をリセット** → ENTER

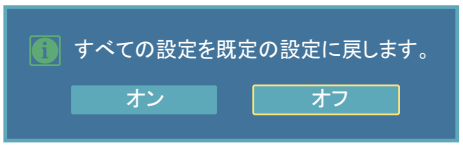
このオプションは、設定の現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。



7.13 すべてリセット

MENU → **設定** → **すべてリセット** → ENTER

このオプションは、ディスプレイに関するすべての現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。



8 トラブルシューティング ガイド

8.1 サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に

8.1.1 製品のテスト

サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品が正しく PC に接続されていて、電源 LED が点滅しているのに画面に何も映らない場合には、製品テストを実施します。

1. PC と製品の両方の電源をオフにします。
2. 製品からすべてのケーブルを外します。
3. 製品の電源をオンにします。
4. **信号がありません** と表示される場合には、製品は正常に動作しています。

   画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

8.1.2 解像度と周波数の確認

"サポートされている解像度（「サポートされる解像度」を参照）を超えるモードが選択されている場合には、**最適なモードが選択されていません** と短く表示されます。

8.1.3 以下について確認します。

インストールの問題	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC との間のケーブル接続を確認し、しっかりと接続されていることを確認します。 (″2.2 PC の接続と使用″)
HDMI または HDMI-DVI ケーブルで製品と PC を接続しているときは、画面の四辺に空白部分が発生します。	画面に空白部分が発生するのは、製品側の問題ではありません。 PC またはグラフィック カードによって画面の空白部分が発生しています。問題を解決するには、グラフィック カードの HDMI または DVI 設定で画面サイズを調整します。 グラフィック カードの設定メニューに画面サイズを調整するオプションがない場合には、グラフィック カードのドライバを最新バージョンにアップデートします。 (画面設定の調整方法の詳細については、グラフィック カードまたはコンピュータのメーカーにお問い合わせください。)

画面の問題	
電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが接続されていることを確認します。 (″2.2 PC の接続と使用″)
信号がありません が画面に表示される(「PC への接続」を参照)。	製品がケーブルで正しく接続されていることを確認します。 (″2.2 PC の接続と使用″)
	電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。
最適なモードが選択されていません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大の解像度および周波数を超えている場合に表示されます。
	標準の信号モード表を参照して、製品の仕様に従って最大の解像度および周波数を設定します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品に接続しているケーブルを確認します。 (″2.2 PC の接続と使用″)
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	アクセサリ(ビデオの拡張ケーブルなど)を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。

8 トラブルシューティング ガイド

画面の問題	
画面が安定せず震えて見える。	PC およびグラフィック カードの解像度と周波数が製品の対応する範囲に設定されていることを確認します。続いて、製品メニューの追加情報および標準信号モード表を必要に応じて参照して、画面の設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	[明るさ] と [コントラスト] を調整します。
画面の色が正しくない。	映像に移動してColor Temp.設定を調整します。
画面の色に影があり、ゆがんで見える。	映像に移動してColor Temp.設定を調整します。
白が正しく白色に見えない。	映像に移動してColor Temp.設定を調整します。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5～1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。

音声の問題	
音声が出ない	オーディオ ケーブルの接続を確認するか、音量を調整します。 (″2.2 PC の接続と使用″)
	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。
	最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェア プログラムの音量を調整します。

リモコンの問題	
リモコンが機能しない。	電池が正しく入れられていることを確認します。
	電池が消耗していないかチェックします。
	停電していないか確認します。
	電源コードが接続されていることを確認します。
	近くで特殊な照明またはネオン サインが点灯していないか確認します。

入力信号装置お n 問題	
PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

8 トラブルシューティング ガイド

8.2 Q & A

質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 • "Windows XP":**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** → **詳細** → **モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。 • "Windows ME/2000":**コントロール パネル** → **画面** → **設定** → **詳細** → **モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。 • "Windows Vista":**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **画面の設定** → **詳細設定** → **モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。 • "Windows 7":**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **解像度の調整** → **詳細設定** → **モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。
解像度の変更方法は?	• "Windows XP":**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • "Windows ME/2000":**コントロール パネル** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • "Windows Vista":**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **画面の設定** で解像度を調整します。 • "Windows 7":**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **画面** → **解像度の調整** で解像度を調整します。
省電力モードの設定方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。

調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

9 仕様

9.1 一般情報

http://www.samsung.com/jp

モデル名		UD22B
パネル	サイズ	21.6 インチ (54 cm)
	表示範囲	387.36 mm (H) x 387.36 mm (V)
表示色		1670万色
寸法 (W x H x D) / 重量 (スタンドなし)		393.3 x 393.3 x 81.5 mm / 6.5 kg
VESA 取り付けインターフェイス		300 x 300 mm
同期	水平周波数	30～81 KHz
	垂直周波数	56～85 Hz
解像度	最適解像度	960 x 960 @ 60 Hz
	最大解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
最大ピクセル クロック		148.5 MHz (アナログ、デジタル)
信号コネクタ		入力:DVI IN, HDMI IN, DP IN, IR/AMBIENT SENSOR IN, RJ45 MDC, RS232C IN 出力:DVI OUT(LOOPOUT), AUDIO OUT, IR OUT, RS232C OUT
環境条件	動作時	温度:0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F) 湿度:10～80 %、結露しないこと
	記録装置 (梱包保存時)	温度:-20 °C ~ 45 °C (-4 °F ~ 113 °F) 湿度:5～95 %、結露しないこと

電源:この製品は 100～240V を使用します。標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。

プラグ & プレイ:このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。

この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。

VCCI-A　　この装置は、 クラスA　情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

9.2 省電力

この製品の省電力機能は、製品が一定時間使用されていないときには画面をオフにして消費電力を小さくし、電源 LED の色を変更します。省電力モードでは電源はオフにはなりません。画面を再度オンにするには、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。省電力モードは、製品が省電力機能のある PC に接続されているときにのみ機能します。

省電力	通常動作		省電力モード	電源オフ (電源ボタン オフ)
	定格	(一般)		
電源インジケーター	オン		点滅	オフ
消費電力	65 ワット	67 ワット	0.5 ワット未満	0.5 ワット未満

- 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。
- SOG (Sync On Green) はサポートされません。
- 消費電力を 0 にするには、背面にあるスイッチをオフにして電源コードを外します。
  製品を長期間使用しない場合 (休暇中など) には、電源コードを外してください。

9.3 プリセット タイミング モード

- この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。指定以外の解像度を使用すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いの製品について指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。
- (PC に接続されている) CDT 製品を LCD 製品に交換した場合には、周波数を確認してください。LCD 製品が 85Hz をサポートしていない場合には、CDT 製品を使用して垂直周波数を 60Hz に変更してから LCD 製品に交換してください。

以下の規格の信号モードに含まれる信号が PC から送信されてきた場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、960 x 960	59.731	59.971	75.500	-/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA, 1920 x 1080(RB)	66.587	59.934	138.500	+/-

水平周波数

1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

垂直周波数

本製品は、ひとつの画像を (蛍光灯のように) 1 秒間に何回も表示して、画面に映像を表示します。ひとつの画像が 1 秒間に繰り返し表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュ レートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp/
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

有料サービスに関する責任（お客様の負担）

サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- サービス技術者が、製品の使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整を行う場合
- 外部環境（インターネット、アンテナ、有線信号など）による異常の場合
- 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合
- 別の場所や別の家に製品を再設置する場合
- 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合
- ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合
- 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合
- サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合
- 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合

お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- Samsung Electronics Co., Ltd. の依託サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- お客様自身で製品の改造や修理を行った場合
- 規定外の電圧や電源を使用した場合
- ユーザー マニュアルに記載されている "注意" を守らなかった場合

その他

- 自然災害（落雷、火災、地震、洪水など）によって製品が故障した場合。
- 消耗部品（バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、バイブレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど）を使い切った場合。

製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。

最適画質および残像の焼き付き防止

最適画質

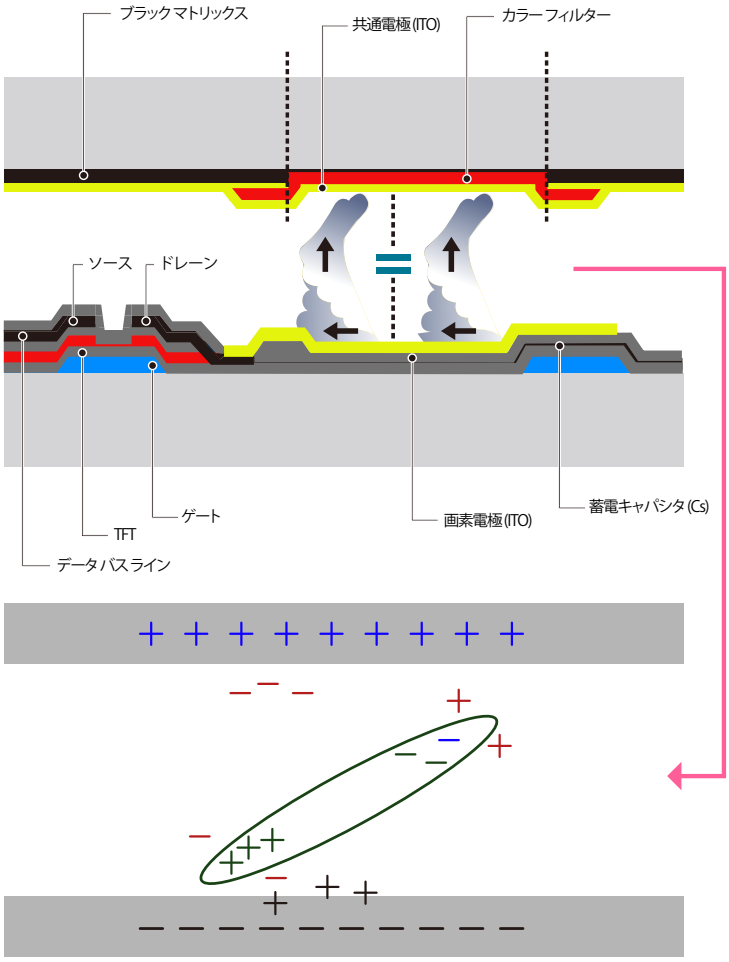
- 最適画質でご使用いただくには、お使いの PC の コントロール パネルで、以下の手順で解像度とリフレッシュ レートを調整します。最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。
  - 解像度:960 X 960
  - 垂直周波数 (リフレッシュ レート):56～85 Hz
- この製品の製造工程の特性により、パネル上に 100 万ピクセルに約 1 個 (1ppm) の割合で明るい、または暗いピクセルが生じる場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。
  - 各 パネル タイプのサブピクセル数:2,764,800
- **自動調整** を実行すると、画質が向上します。自動調整後もノイズが見られる場合は、**粗調整** または **微調整** を行います。
- 静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。
  - 製品を長時間使用しない場合は、省電力モードまたはスクリーンセーバーを有効にしてください。
- TFT-LCD モニターは CDT モニターと異なり (パネルの特性による)、最適画質の解像度は 1 とおりにしか設定することができません。したがって、解像度を指定の解像度以外に設定すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いのモニターについて指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。

残像の焼き付き防止

残像の焼き付きとは?

LCD パネルが通常動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。通常動作とは、ビデオパターンが連続して変化していることを意味します。LCD パネルに静止したパターンを長時間 (12 時間以上) 表示すると、液晶を制御するピクセルの電極間にわずかな電圧の差が生じる場合があります。

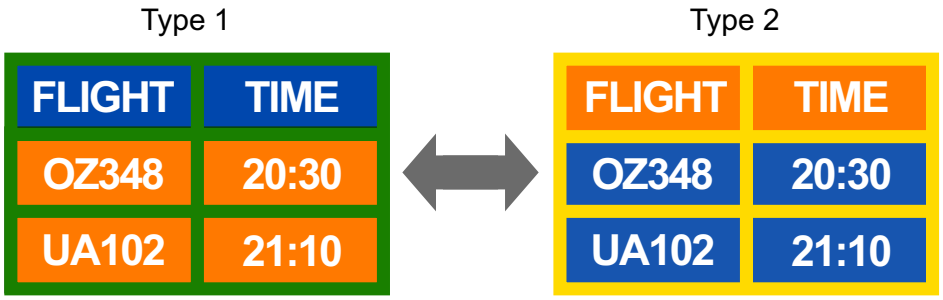
このような電極間の電圧の差は時間の経過と共に拡大し、液晶は薄くなります。このような状態が発生すると、パターンが変化した後も前の画像が画面上に残ることがあります。これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。



- 電源オフ、スクリーンセーバー、省電力モード
  - 本製品を 20 時間使用後は 4 時間、電源をオフにしてください。
  - 本製品を 12 時間使用後は 2 時間、電源をオフにしてください。

- 必要に応じて、お使いの PC で、[Display Properties (画面のプロパティ)] > [Power Supply (電源)] の順に選択して、製品の電源をオフにします。
- スクリーンセーバーの利用をお勧めします。
  スクリーンセーバーは単色または、動く映像のものをお勧めします。

- 定期的な色の変更



2 色使用

上記の 2 色を、30 分ごとに切り替えてください。

- 文字色と背景色に対照的な明るさの色を使用することは、避けてください。
  残像の焼き付きの原因になるため、グレーの使用は避けてください。
  対照的な明るさの色の使用は避けてください（白黒、グレー）。

- 定期的な文字色の変更
  - 輝度の近い明るい色を使用します。
    間隔:文字色と背景色を 30 分間隔で変更

  - 以下に示すように、30 分間隔で文字を変更します。

  - 定期的にロゴと動画を表示します。
    間隔:4 時間使用後に、ロゴと動画を 60 秒間表示します。
  - 製品の残像の焼き付きを防止する最も良い方法は、製品を使用しない時は電源スイッチをオフにするか、PC またはシステムでスクリーンセーバーを実行するよう設定することです。保証は、操作ガイドによって制限のある場合があります。

用語

OSD (オンスクリーン ディスプレイ)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) では、画面上の設定を行って、必要に応じて画質を最適化することができます。画面に表示されるメニューを使用して、画面の明るさや色合い、サイズなどのさまざまな設定を変更できます。

ガンマ

ガンマ メニューでは、画面の中間調を示すグレースケールを調整します。明るさを調整すると画面全体が明るくなりますが、ガンマを調整した場合は中間の明るさの部分だけが明るくなります。

グレースケール

スケールとは色の強度のことで、画面上の暗い部分から明るい部分への色の変化を表します。画面の明るさの変更は白と黒の変化で表現されますが、グレースケールは白と黒の中間色を指すため、ガンマ調整でグレースケールを変更すると、画面上の中間の明るさの部分が変化します。

走査速度

走査速度は「リフレッシュ レート」とも呼ばれ、画面の書き換え (リフレッシュ) 頻度を表します。画像のリフレッシュ時には画面データが送信されます。ただし、これを肉眼で確認することはできません。この画面を書き換える回数を走査速度と呼び、Hz 単位で表します。たとえば走査速度が 60Hz の場合は、1 秒間に 60 回画面の書き換えが行われます。画面の走査速度は、ご使用の PC および製品のグラフィック カードの性能によって異なります。

水平周波数

製品の画面に表示される文字や画像は、多数のドット (ピクセル) で構成されています。ピクセルは水平方向の線 (ライン) になるよう送信され、これらのラインが垂直に配列されて画像が形成されます。水平周波数は kHz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインが製品の画面に送信され描画される回数を表します。たとえば水平周波数が 85 の場合は、画像を作り出す水平方向のラインが 1 秒間に 85,000 回送信されます。このとき、水平周波数は 85kHz と表されます。

垂直周波数

画像は、水平方向の多数のラインで構成されます。垂直周波数は Hz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインによって描画される画像の数を表します。たとえば垂直周波数が 60 の場合は、1 秒間に画像が 60 回描画されます。垂直周波数は ″リフレッシュ レート″ とも呼ばれ、画面のちらつきに作用します。

解像度

解像度は、画面を形成している水平および垂直方向のピクセルの数で、ディスプレイの精細度を意味します。

高い解像度では、多くの情報を画面上に表示できるため、同時に複数の作業を実行する場合に適しています。

たとえば解像度が 1920 x 1080 の場合、水平方向のピクセル（水平周波数）は 1,920 個、垂直のライン（垂直解像度）は 1,080 本となります。

プラグ & プレイ

プラグ & プレイ機能では、製品と PC 間で情報が自動的に交換され、最適なディスプレイ環境が構築されます。

本製品では VESA DDC（国際規格）を使用してプラグ & プレイを実行しています。

索引

M

MDC のインストールアンインストール *56*

P

PC の接続 *45*

PC の接続と使用 *45*

Z

安全ロック *108*

画面保護 *112*

解像度の変更 *47*

外部入力名編集 *90*

言語 *104*

仕様 *128*

時刻 *104*

省電力 *109*

電池 *25*

入力信号自動切換設定 *91*

標準 *92*

付録 *132*

別売品 *19*

問題の報告 *124*

え

エコ ソリューション *101*, *102*

さ

サイズ *97*

す

すべてリセット *123*

スリープ タイマー *105*

ひ

ビデオ デバイスへの接続 *51*

め

メニューの背景透明度 *107*

も

モード *89*, *92*

ゆ

ユーザー調整 *93*

り

リモコン *24*